

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッカリジゲン カザワリイカダク 学校法人 金沢医科大学								
フリガナ大学の名称	カザワリイカダク 金沢医科大学 (Kanazawa Medical University)								
大学本部の位置	石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地								
大学の目的	金沢医科大学は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、医学・看護学に関する理論と応用とを教授研究し、医の倫理に徹して日進月歩の医学の進展に対応し得る有能な医師並びに保健医療及び福祉に貢献できる看護職者を育成することを目的とし、医学・看護学の発展と地域社会の医療開発、健康増進、福祉の向上に寄与することを使命とする。								
新設学部等の目的	厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会（看護職員受給分科会）中間とりまとめ（令和元年11月15日）」によると、都道府県別で状況は異なるが、令和7（2025）年の供給推計は需要推計に対して約5.5万人の不足が見込まれている。このような社会情勢を踏まえ、看護師不足の解消に資すべく、併せて、地域医療の発展に貢献する優秀な看護職者の育成を目指したいと考え収容定員を増加する次第である。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	医学部医学科の入学定員・収容定員については下記の表参照。令和4年度のみ臨時定員増があったため、収容定員に差異がある。
	医学部医学科 (School of Medicine, Department of Medicine)	6年	110人	—	661人	学士(医学) (Bachelor of Medicine)	昭和47年6月 第1年次	石川県河北郡内灘町 字 1丁目1番地	
	看護学部看護学科 (School of Nursing, Department of Nursing)	4年	75 (70)	—	300 (280)	学士(看護学) (Bachelor of Nursing Science)	令和5年4月 第1年次	同上	
	計		185 (180)		956 (936)				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		該当なし							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計	— 単位			
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	新設分	医学部医学科	84 (84)	31 (31)	35 (35)	148 (148)	298 (298)	2 (2)	67 (67)
		看護学部看護学科	7 (7)	8 (8)	15 (15)	6 (6)	38 (38)	2 (2)	94 (94)
		計	91 (91)	39 (39)	50 (50)	154 (154)	336 (336)	4 (4)	— (—)
	既設分	一般教育機構	3 (3)	5 (5)	9 (9)	1 (1)	18 (18)	0 (0)	0 (0)
		総合医学研究所	2 (2)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	2 (2)	0 (0)
		附属病院	2 (2)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	6 (6)	0 (0)	0 (0)
		その他	13 (13)	5 (5)	3 (3)	4 (4)	25 (25)	0 (0)	0 (0)
		計	20 (20)	14 (14)	13 (13)	7 (7)	54 (54)	2 (2)	— (—)
合計		113 (113)	53 (53)	63 (63)	161 (161)	390 (390)	6 (6)	— (—)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		195 人 (195)	98 人 (98)	293 人 (293)					
	技 術 職 員		1440 (1440)	473 (473)	1913 (1913)					
	図 書 館 専 門 職 員		4 (4)	3 (3)	7 (7)					
	そ の 他 の 職 員		47 (47)	249 (249)	296 (296)					
	計		1686 (1686)	823 (823)	2509 (2509)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	158,181 m ²	— m ²	— m ²	158,181 m ²					
	運 動 場 用 地	33,344 m ²	— m ²	— m ²	33,344 m ²					
	小 計	191,525 m ²	— m ²	— m ²	191,525 m ²					
	そ の 他	7,412 m ²	— m ²	— m ²	7,412 m ²					
	合 計	198,937 m ²	— m ²	— m ²	198,937 m ²					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
		72,894 m ² (72,894 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	72,894 m ² (72,894 m ²)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	20室	44室	28室	1室 (補助職員 — 人)	1室 (補助職員 — 人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		大学全体		266 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	77,206 [40,680] (77,206 [40,680])	3,992 [2,361] (3,992 [2,361])	5,029 [3,511] (5,029 [3,511])	569 (569)	4,406 (4406)	252 (252)			
	計	77,206 [40,680] (77,206 [40,680])	3,992 [2,361] (3,992 [2,361])	5,029 [3,511] (5,029 [3,511])	569 (569)	4,406 (4406)	252 (252)			
図 書 館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数				
		2,766.56 m ²		234		163,386				
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		2,668 m ²		テニスコート (4面)		球技場 (1面)				
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	・各経費の見積もりは、大学全体で算出。ただし、設備購入費については、付属病院分を含む。 ・図書購入費には、電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等		900千円	900千円	900千円	900千円	900千円	900千円	
		共同研究費等		20,000千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円	
		図書購入費	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	
	設備購入費	700,000千円	700,000千円	700,000千円	700,000千円	700,000千円	700,000千円	700,000千円		
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		医学部	11,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	5,500千円	5,000千円		
	看護学部	1,650千円	1,350千円	1,350千円	1,350千円					
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、医療収入、受託事業収入、雑収入等							
大 学 の 名 称		金沢医科大学								
既 設 大 学 等 の 状 況	学 部 等 の 名 称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	医学部 医学科		6 年	111 人	— 人	656 人	学士(医学)	1.00 倍	昭和47年度	石川県河北郡内灘町 宇大学1丁目1番地
	看護学部 看護学科		4 年	70 人	— 人	280 人	学士(看護学)	1.00 倍	平成19年度	同上
	大学院医学研究科 生命医学専攻		4 年	35 人	— 人	140 人	博士(医学)	0.52 倍	昭和57年度	同上
	大学院看護学研究科 看護学専攻		2 年	6 人	— 人	12 人	修士(看護学)	1.00 倍	平成27年度	同上

<p>附属施設の概要</p>	<p>名 称：金沢医科大学病院</p> <p>目 的：公衆保健に寄与するため患者の診療を行い併せて医学・看護学教育・研究を行うことを目的とする。</p> <p>所 在 地：石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地</p> <p>設置年月：昭和49年9月</p> <p>規 模 等：建物 96,464㎡</p> <p>病院中央棟：地上5階地下2階、病院1号棟：地上12階地下1階</p> <p>病院2号棟：地上2階地下1階、病院3号棟：地上8階地下1階 等</p> <p>診 療 科：39科 許可病床数：817床</p> <p>名 称：総合医学研究所</p> <p>目 的：臨床に直結した研究推進及び研究支援</p> <p>所 在 地：石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地</p> <p>設置年月：平成元年4月</p> <p>規 模 等：建物 5,898㎡</p>	
----------------	---	--

学校法人金沢医科大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度				令和5年度				変更の事由
	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		
金沢医科大学				金沢医科大学				
医学部				医学部				
医学科	111	—	661	医学科	110	660	令和4年度のみ臨時で 研究医枠1名を定員増	
(6年制)				(6年制)				
看護学部				看護学部				
看護学科	70	—	280	看護学科	75	300	定員変更(5)	
計	181		941	計	185	960		
金沢医科大学大学院				金沢医科大学大学院				
医学研究科	35	—	140	医学研究科	35	140		
(4年制D)				(4年制D)				
看護学研究科	6	—	12	看護学研究科	6	12		
計	41		152	計	41	152		

別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要																
(看護学部看護学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					z		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間学領域	暮らしと法律	1前	1			○									兼1	
	生活におけるICT活用と医療情報セキュリティ	1前	1			○									兼1	
	人類と文化	1前		1		○									兼1	
	医療倫理	1後	1			○									兼1	
	日本国憲法	2後		2		○									兼1	
	心理学	1前	1			○									兼1	
	健康と運動の科学	1後	1			○									兼1	
	地域文化論	1後		1		○									兼1	
	社会保障制度論	2前	1			○			1							
	キャリアデザイン論	1前	1				○		1	2	2					共同（一部）
	情報の科学	1前・後	2				○								兼1	
	エクササイズ&スポーツ	1前		1			○								兼2	共同（一部）
	アカデミック・スキルズ	1前・後	1				○				3	2			兼3	共同
	生涯発達・教育論	1後	1				○								兼1	
	統計学	2前	1				○								兼1	
	哲学的クリティカルシンキング	2後	1				○								兼1	
	英語Ⅰ（コミュニケーション英語）	1前	1				○								兼2	共同
	英語Ⅱ（看護英語基礎）	1後	1				○								兼3	共同
	国際社会学	1後	1				○								兼1	
	英語Ⅲ（看護英語講読）	2前	1				○								兼2	共同
	中国語	2後		1			○								兼1	
	韓国語	2後		1			○								兼1	
	ドイツ語	2後		1			○								兼1	
小計（23科目）	—	17	8	0		—		2	2	5	2	0				
医学領域	看護のための基礎科学	1前	1			○			1						兼3	オムニバス・共同（一部）
	人体の構造と機能・解剖・生理・生化学-	1前	4			○			1						兼7	オムニバス
	病原微生物学	1前	1			○			1						兼2	共同（一部）
	病理・病態学	1前	1			○			1							
	免疫・生体防御学	1前	1			○			1							
	臨床医学総論	1後	2			○									兼9	オムニバス・共同（一部）
	疾病・治療論Ⅰ：循環器・呼吸器系	1後	2			○									兼4	オムニバス
	疾病・治療論Ⅱ：消化器・内分泌・代謝系	1後	2			○			1						兼5	オムニバス
	疾病・治療論Ⅲ：腎・泌尿器・免疫・血液・神経内系	1後	2			○			1						兼3	オムニバス
	疾病・治療論Ⅳ：脳・神経・運動器・感覚器系	2前	2			○			1						兼12	オムニバス
	疾病・治療論Ⅴ：精神神経系	2前	1			○				1					兼6	共同（一部）
	疾病・治療論Ⅵ：高齢者・リハビリテーション医療・感染症学	2前	1			○									兼4	オムニバス
	疾病・治療論Ⅶ：小児・産婦人科系	2後	1			○					1				兼4	オムニバス
	臨床薬理学	2前	1			○									兼2	
	臨床栄養学	2前	1			○									兼1	
小計（15科目）	—	23	0	0		—		8	1	1	0	0				
看護学Ⅰ（基本）	看護学原論Ⅰ（看護の構成概念）	1前	2			○			1							
	看護コミュニケーション論	1前	1			○				1	2					共同（一部）
	家族看護論	1後	1			○				1						
	精神保健看護学概論	1後	2			○				1	2				兼1	共同（一部）
	成人看護学概論	2前	2			○				2	1					
	老年看護学概論	2前	2			○			1	1	1	1			兼2	共同（一部）
	ウイメンズヘルス看護学概論	2前	1			○				1						
	小児看護学概論	2前	2			○			1			1	1			共同（一部）
	在宅看護学概論	2前	2			○			1		2					
	公衆衛生看護学概論Ⅰ（対象と場）	2後	1			○				1	1				兼2	共同（一部）
小計（10科目）	—	16	0	0		—		4	8	9	2	1				
看護学Ⅱ（方法）	基礎看護技術論Ⅰ（対象の健康を評価する技術）	1後	2			○			1		4	1			兼3	共同（一部）
	基礎看護技術論Ⅱ（生活援助技術）	1後	2			○			1		4	1				共同（一部）
	基礎看護技術論Ⅲ（健康援助技術）	2前	2			○			1		4	1			兼6	共同（一部）
	基礎看護技術論Ⅳ（看護過程展開技術）	2前	1			○			1		4	1				共同（一部）
	精神看護学方法論	2後	1			○				1	2				兼3	共同（一部）
	成人看護学方法論Ⅰ（看護援助論）	2後	2			○				2	2					
	老年看護学方法論Ⅰ（看護援助演習）	2後	1			○			1	1	1	1				共同（一部）
	ウイメンズヘルス看護学方法論Ⅰ（看護援助論）	2後	2			○				1						
	小児看護学方法論Ⅰ（看護援助論）	2後	1			○			1			1	1		兼2	共同（一部）
	成人看護学方法論Ⅱ（看護援助演習）	3前	2			○				2	2	1			兼3	共同（一部）
	老年看護学方法論Ⅱ（看護援助論）	3前	1			○			1	1	1	1				共同（一部）
	ウイメンズヘルス看護学方法論Ⅱ（看護援助演習）	3前	1			○				1	1	3	1		兼1	共同（一部）
	小児看護学方法論Ⅱ（看護援助演習）	3前	1			○			1			1	1		兼3	共同（一部）
	在宅看護学方法論Ⅰ（看護援助論）	2後	2			○			1		2					共同（一部）
	在宅看護学方法論Ⅱ（看護援助演習）	3前	1			○			1		2					共同（一部）
小計（15科目）	—	22	0	0		—		10	9	29	12	3				

看護学領域	看護学Ⅲ (実践)	基礎看護学実習Ⅰ(対象の生活・環境・健康課題の理解)	1前	1				○	1		4	1								
		基礎看護学実習Ⅱ(看護の実践)	2後	2				○	1		4	1								
		精神看護学実習	3前・後	2				○		1	2									
		成人看護学実習Ⅰ(急性期看護実習)	3前・後	2				○		1	1									
		成人看護学実習Ⅱ(慢性期看護実習)	3前・後	2				○		1	1	1								
		老年看護学実習	3前・後	4				○	1	1	1	1								
		ウイメンズヘルス看護学実習	3前・後	2				○	1	1	1	3	1						兼1	
		小児看護学実習	3前・後	2				○	1				1	1						
		在宅看護学実習	3前・後	2				○	1	1	2									
		小計(9科目)	—	19	0	0		—	5	6	16	8	2							
	看護学Ⅳ (発展)	看護管理	2後	1				○	1		1									
		看護情報の検索と活用	2後	1				○	1											
		看護学原論Ⅱ(看護と倫理観の探求)	3後	1				○	1										兼1	
		看護サービス論	4前	1				○		1	1								共同(一部)	
		災害看護論	2後	1				○		1									兼1	
		多職種連携論	3後	1				○	1	4	1									
		看護教育	3後	1				○	1				1						兼3 共同(一部)	
		看護研究の基本	3前	2				○	3	1									共同(一部)	
療養生活支援看護実習		3前・後	2						2	2	1									
看護実践力探求		4前	1				○	4	5	11	3	2						共同(一部)		
統合看護学実習		4前・後	2				○	4	5	11	3	2								
看護研究		4前・後	4				○	9	8	15										
国際看護学		4前・後	1				○		1	4								共同(一部)		
地域アセスメント論		4前・後	1				○		1											
高齢者フレイル論		4前・後	1				○	1	1	1	1							共同(一部)		
皮膚科学看護論		4前・後	1				○			3	1							共同(一部)		
精神看護支援論		4前・後	1				○		1	2								共同		
緩和ケア論		4後	1				○	1		2								兼2 共同(一部)		
看護実践病態論		4後	1				○	2												
看護制度と政策		4後	1				○		2											
看護英語論文		3前・後	1				○		1	2								兼1 共同(一部)		
小計(21科目)	—	19	8	0		—	29	34	56	10	4									
保健師選択コース	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論Ⅱ(活動の基盤)	2後	1			○		1	1								兼1 共同(一部)		
		保健統計	2後	2			○		1											
		疫学	3前・後	2			○		1											
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ(公衆衛生看護活動論)	3前	2			○			1	2								兼1 共同(一部)	
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ(対象別公衆衛生看護活動論)	3後	4			○			1	2								兼1 共同(一部)	
		公衆衛生看護学方法論Ⅲ(学校・産業・健康危機管理)	3後	3			○		1	1	1								兼4 共同(一部)	
		保健医療福祉政策論	4前	3			○		1	1	2								共同(一部)	
		公衆衛生看護学方法論Ⅳ(保健指導演習)	4前	2				○		1	2								共同(一部)	
		公衆衛生看護学方法論Ⅴ(公衆衛生看護活動演習)	4前	2				○		1	2								共同(一部)	
		公衆衛生看護管理論	4前	1				○											兼1	
		公衆衛生看護学実習	4前・後	5				○		1	2									
小計(11科目)	—	0	27	0		—	4	8	14	0	0									
助産師選択コース	助産学	助産学概論	3後	1			○		1									兼1 共同(一部)		
		性と生殖の形態と機能	3前	1			○			1										
		周産期の生理と病態	3後	2			○			1									兼2	
		助産診断技術学Ⅰ(妊娠期)	3後	2			○			1	3	1							共同(一部)	
		助産診断技術学Ⅱ(分娩期)	4前	2			○			1	3	1							共同(一部)	
		助産診断技術学Ⅲ(産褥期・新生児期)	3後	2			○		1		3	1							共同	
		地域母子保健活動論	4前	2			○			1	3	1							共同(一部)	
		助産実践学演習	4前	2				○		1	1	3	1						共同	
		助産管理	4前・後	2				○		1									兼3 共同(一部)	
		助産実習	4前・後	9				○		1	1	2	1							
		母子包括支援実習	4前・後	2				○			1	3								
小計(11科目)	—	0	27	0		—	0	5	8	20	6									
合計(115科目)		—	116	70	0		—	62	73	138	54	16								
学位又は称号		学位又は学科の分野																		
卒業要件及び履修方法											授業期間等									
卒業要件(卒業に必要な単位数):必修116単位、選択8単位、合計124単位以上 ※人間学領域 選択5単位のうち、2単位以上は中国語、韓国語、ドイツ語のいずれかを修得すること。 保健師選択コースの必修27単位をに加え合計151単位以上 助産師選択コースの必修27単位をに加え合計151単位以上 保健師国家試験の受験資格を得ようとする者には保健師選択コースの全科目が必修科目となる。 助産師国家試験の受験資格を得ようとする者には助産師選択コースの全科目が必修科目となる。 養護教諭2種免許を得ようとする者には選択科目である保健師選択コースの全科目、日本国憲法、エクササイズ&スポーツの修得が必要となる。											1学年の学期区分			2期						
											1学期の授業期間			26週						
											1時限の授業時間			90分						

都道府県内における位置関係の図面

学校法人 金沢医科大学

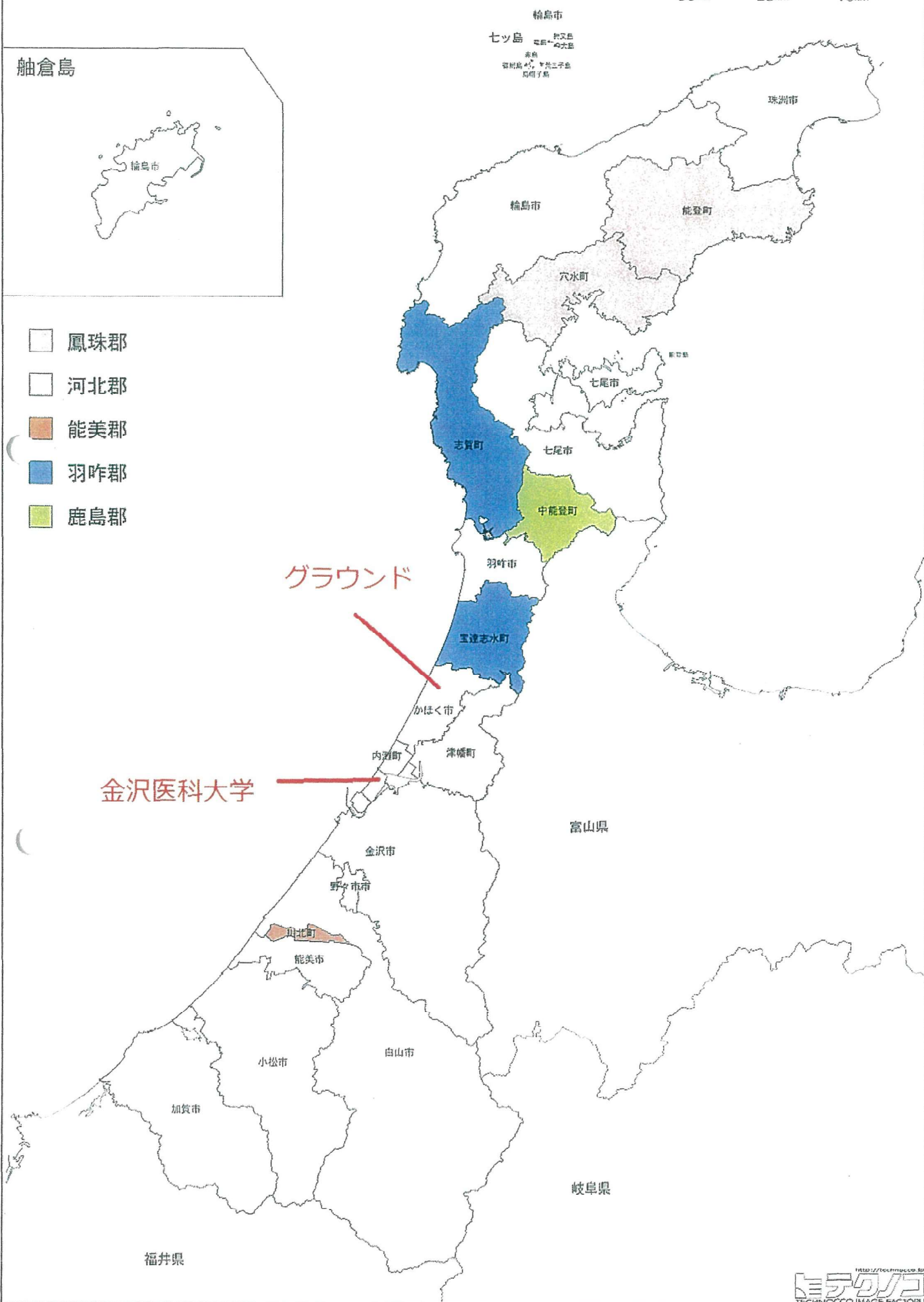
17 石川県

30km 20km 10km

舩倉島



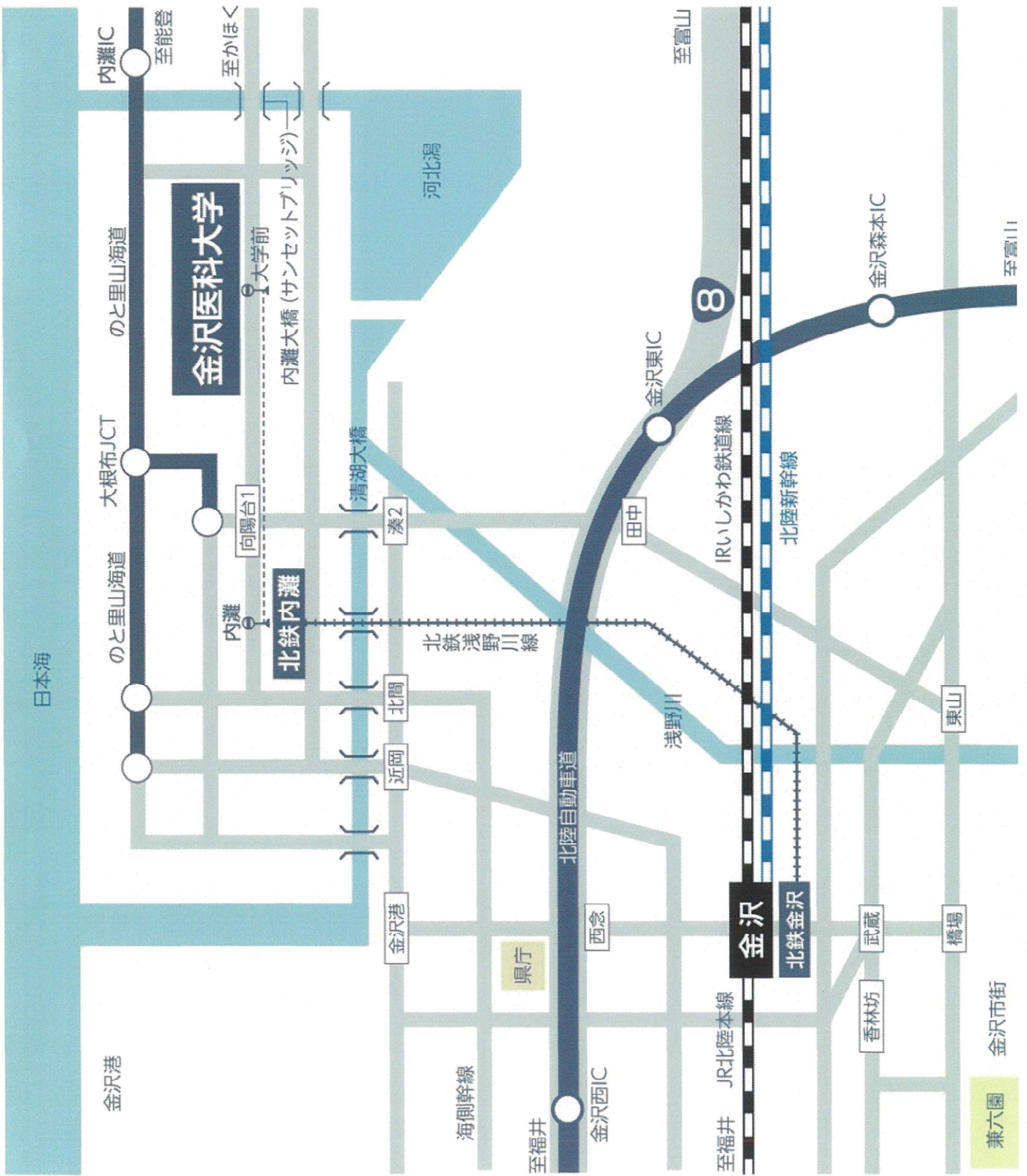
- 鳳珠郡
- 河北郡
- 能美郡
- 羽咋郡
- 鹿島郡



0170A1EM21「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を使用した。（承認番号 平22第使、第632号）」

最寄りの駅からの距離
交通機関及び所要時間がわかる図面

学校法人 金沢医科大学

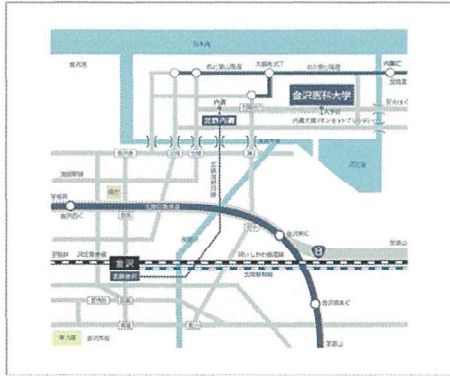


— 図面-4 —

アクセスマップ

[本学周辺地図](#) |
 [飛行機・JRでお越しの方](#) |
 [車でお越しの方](#) |
 [ホテル案内](#) |
 [キャンパスマップ](#)

本学周辺地図

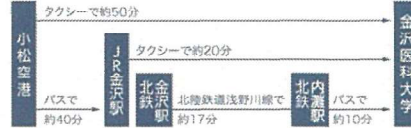


※クリックすると拡大します

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地
 TEL: 076-286-2211 (代表)

[Google マップから地図確認](#)

金沢医科大学までのアクセス



金沢駅から大学まで電車とバスでお越しの方

金沢駅東口より北陸鉄道浅野川線で終点内灘駅まで約16分。
 内灘駅でバス（金沢医科大学行または白帆台ニュータウン行）に乗り換
 え大学前で下車（約10分）

[北陸鉄道株式会社](#)

[ページトップへ戻る](#)

飛行機・JRでお越しの方



※クリックすると拡大します

小松・金沢までのアクセス

飛行機

- 東京—小松/約1時間・・・10往復/日
 - 札幌—小松/約1時間30分・・・1往復/日
 - 仙台—小松/約1時間・・・1往復/日
 - 福岡—小松/約1時間20分・・・4往復/日
 - 那覇—小松/約2時間10分・・・1往復/日
- [小松空港HP](#)

JR

- 東京—金沢/約2時間30分（北陸新幹線）
- 大阪—金沢/約2時間40分（JR在来線）
- 名古屋—金沢/約3時間（JR在来線）
- 長野—金沢/約1時間（北陸新幹線）

[JRおでかけネット](#)

[ページトップへ戻る](#)

車でお越しの方

金沢東インターから（東京方面からお越しの方）

北陸自動車道を金沢東インターで降り、国道8号線を福井方向に走行、
 田中交差点を右折し、直進。清湖大橋を通過し、最初の交差点を右折、
 直進。左手に金沢医科大学。（所要時間 約15分）

[Google マップから地図確認](#)

金沢西インターから（大阪方面からお越しの方）

北陸自動車道を金沢西インターで降り、国道8号線を富山方向に走行、
 田中交差点を左折し、直進。清湖大橋を通過し、最初の交差点を右折、
 直進。左手に金沢医科大学。（所要時間 約20分）

[Google マップから地図確認](#)

高速道路情報

[ドラぷらE-NEXCO Drive Plaza \(NEXCO東日本\)](#)

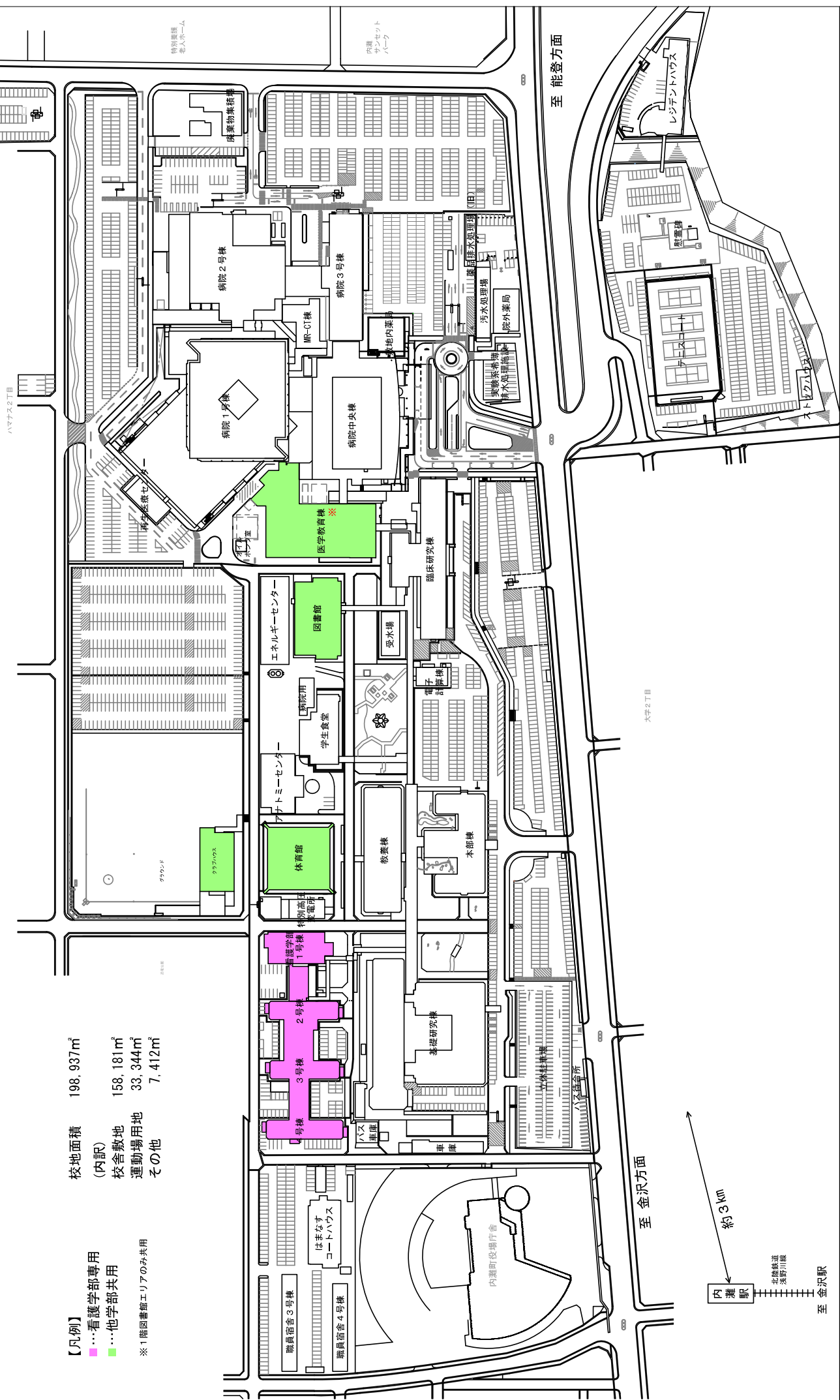
[ページトップへ戻る](#)

ホテル案内

校舎・運動場等の配置図

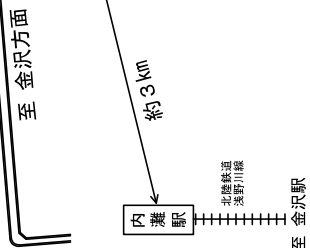
学校法人 **金沢医科大学**

学校法人金沢医科大学 校地校舎配置図

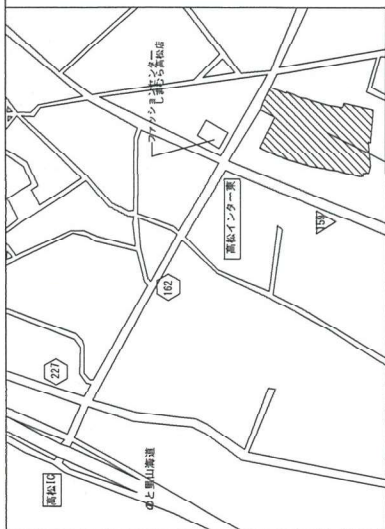


校地面積	198,937㎡
(内訳)	
校舎敷地	158,181㎡
運動場用地	33,344㎡
その他	7,412㎡

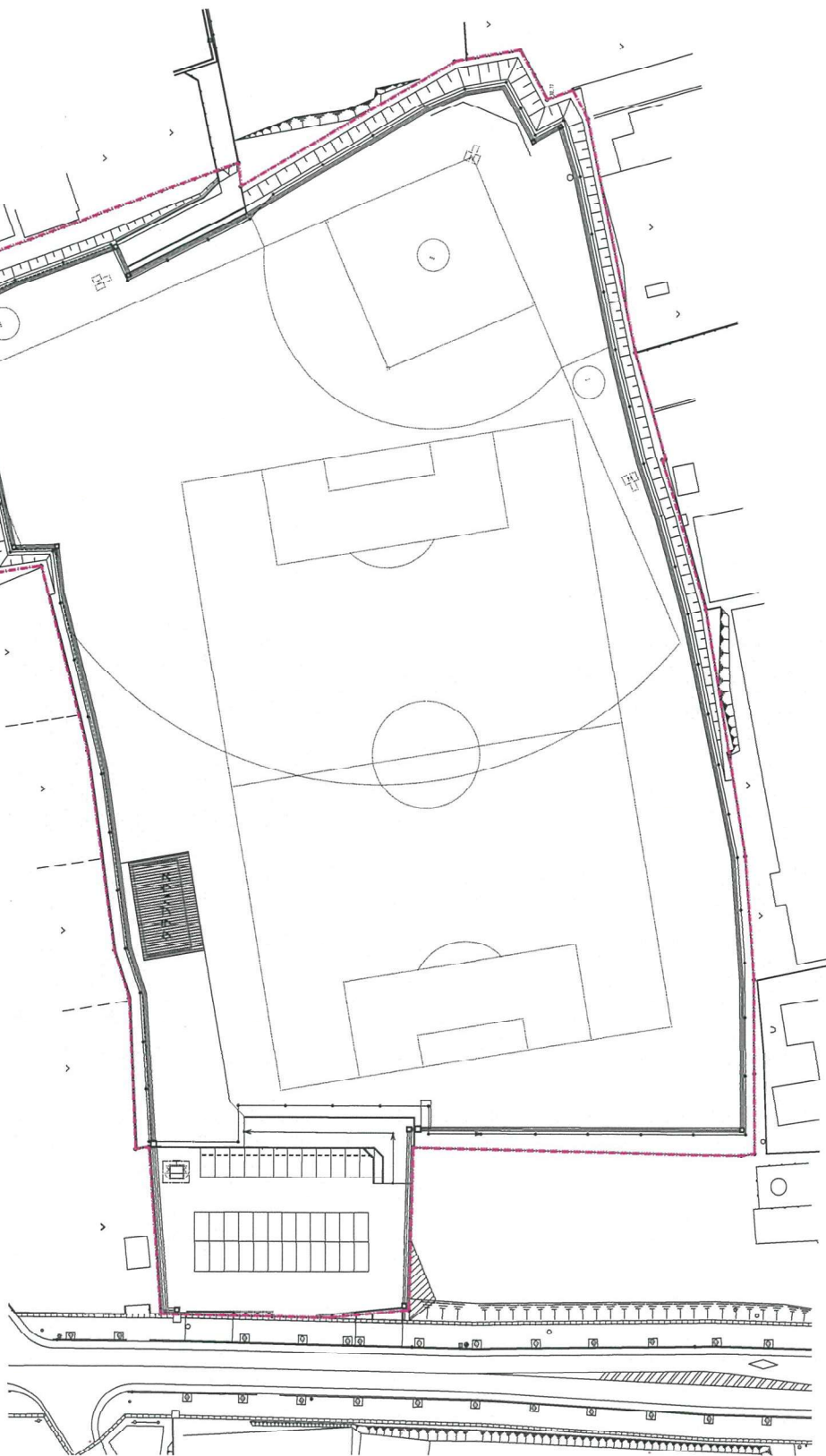
- 【凡例】
- 看護学部専用
 - 他学部共用
 - ※1階図書館エリアのみ共用



学校法人 金沢医科大学 校地校舎の位置および配置図



敷地：石川県がほく市高松ユ89番1他9筆



高松球技場

学校法人 金沢医科大学

校舎平面図

令和4年5月1日現在

各棟平面図の凡例



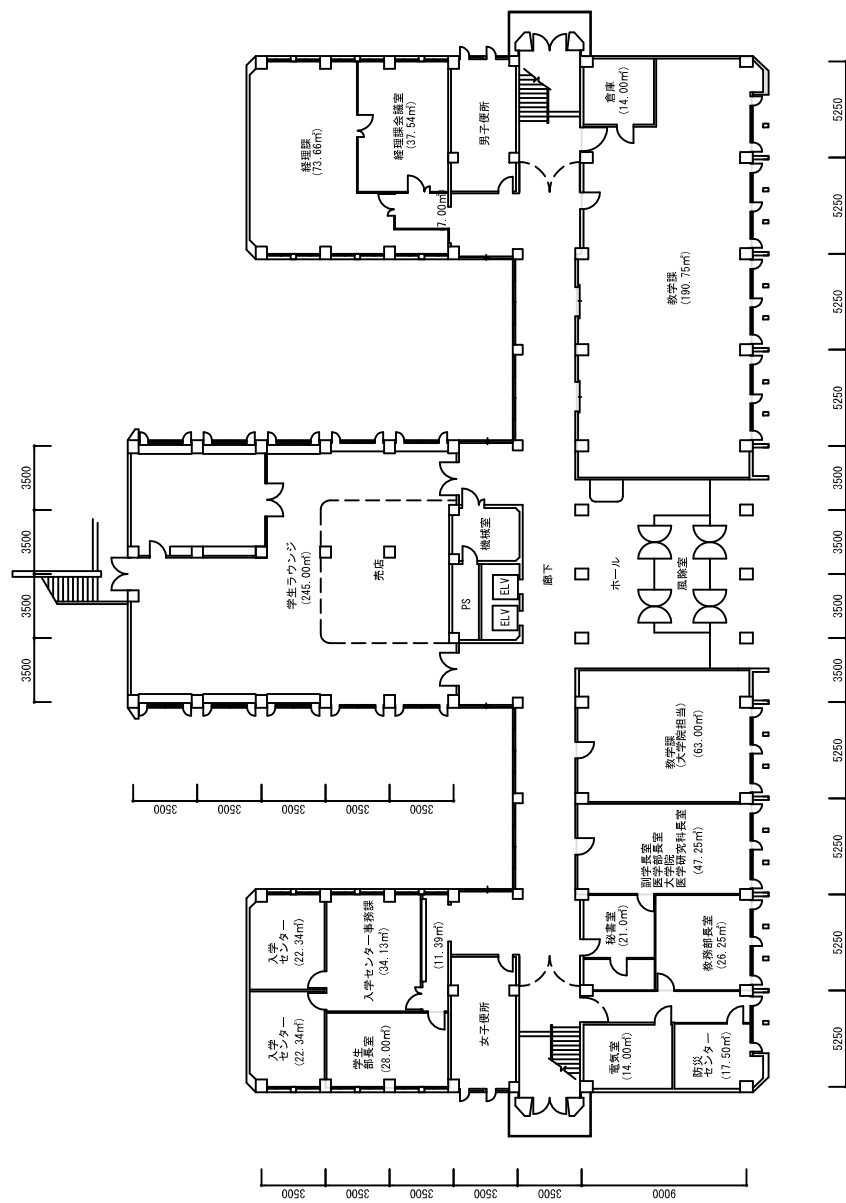
… 看護学部専用



… 看護学部専用実習室

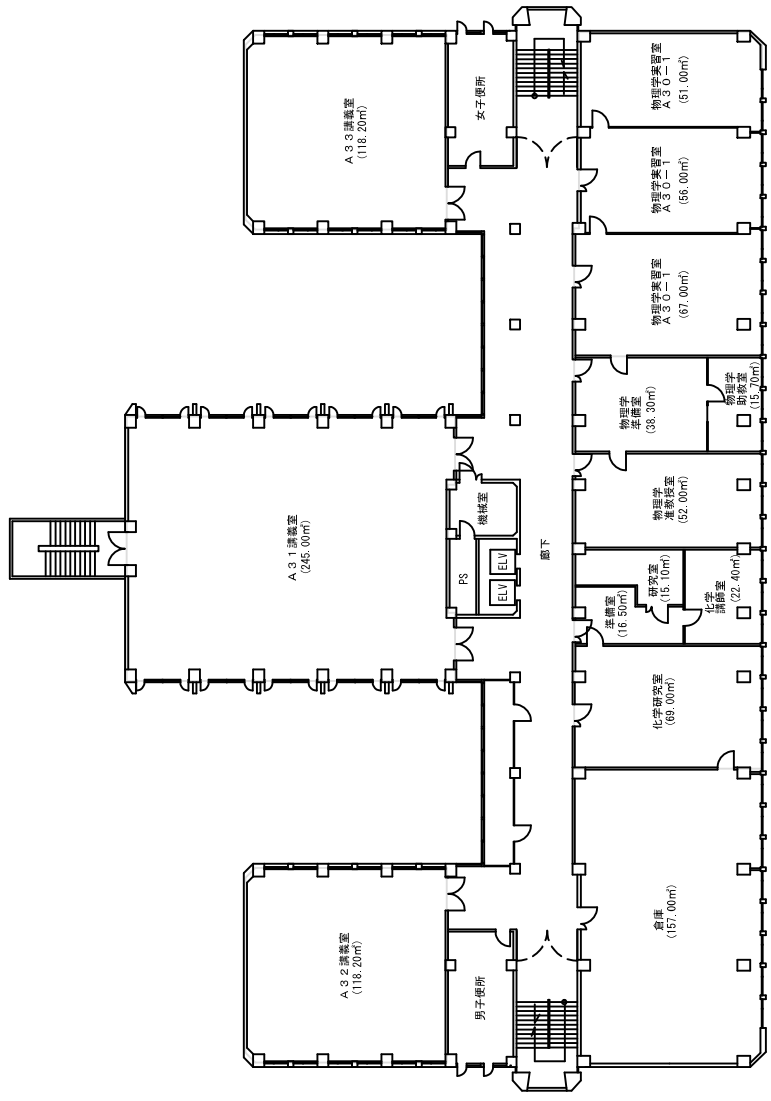


… 他学部共用



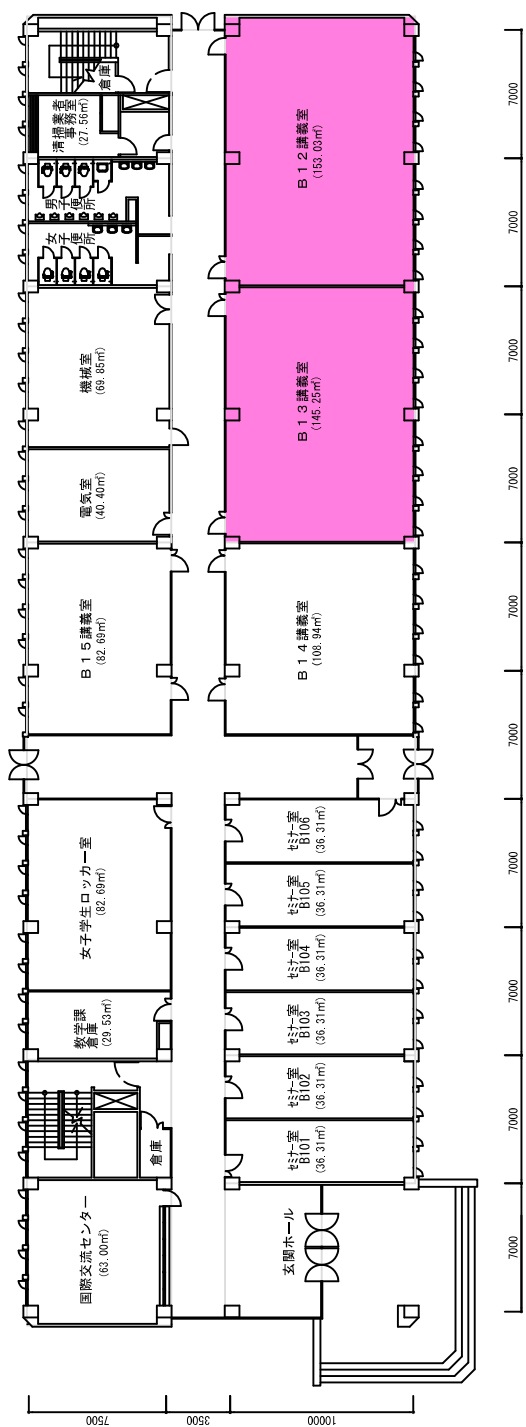
— 図面-10 —

学校法人 金沢医科大学キャンパス	建物名称	本部棟	図面名	1階平面図	縮尺	1/300 (A3)
	訂正 : 2022.4.1					



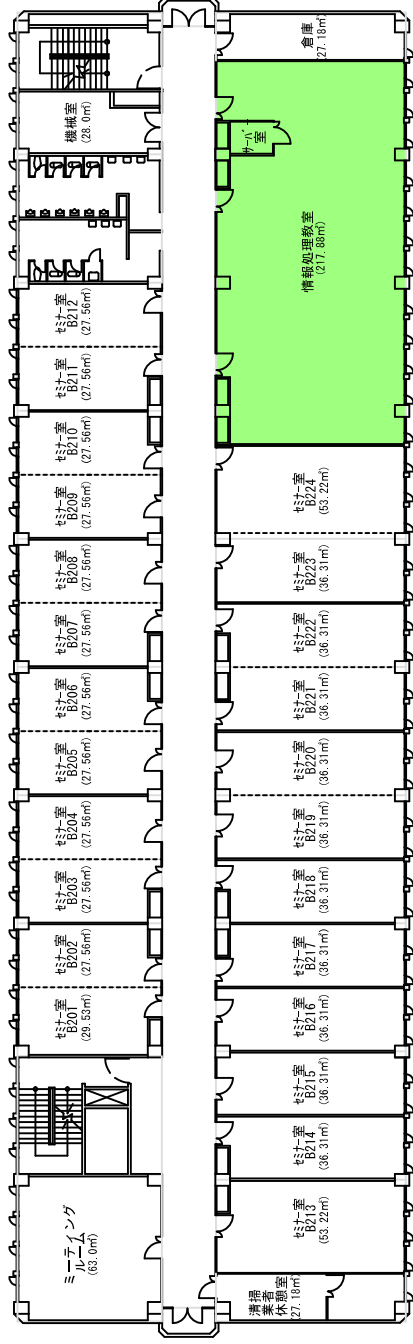
— 図面-12 —

縮尺	図面名	建物名称
1/300 (A3)	3階平面図	本部棟
<p style="text-align: center;">学校法人 金沢医科大学キャンパス</p> <p style="text-align: right;">訂正：2021.4.1</p>		



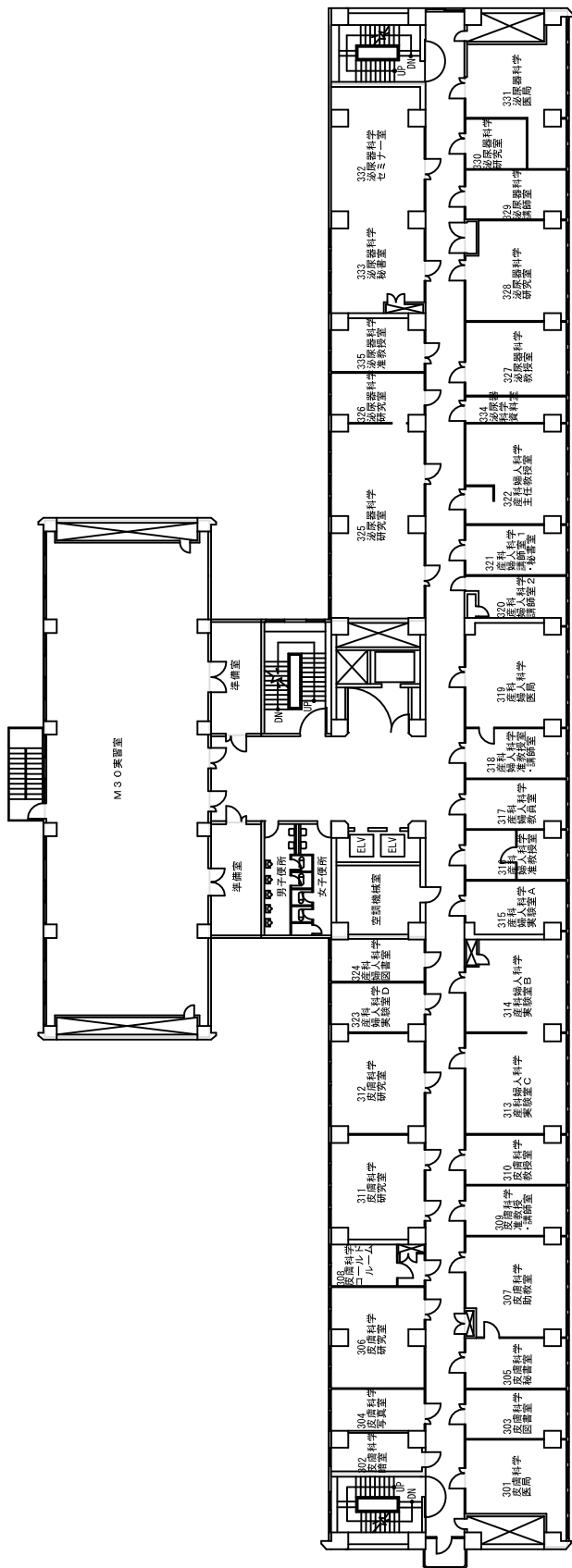
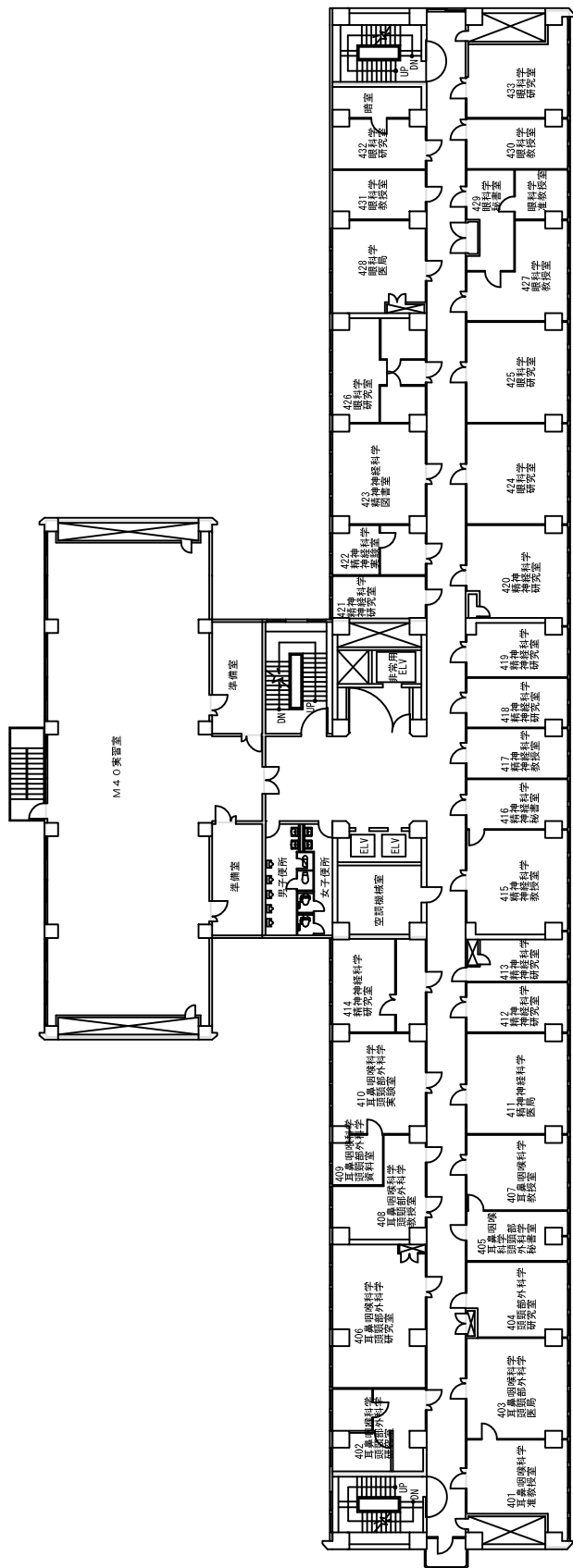
— 図面-14 —

学校法人 金沢医科大学キャンパス		建物名称 教養棟	図面名 1階平面図	縮尺 1/300 (A3)
訂正：2021.4.1				

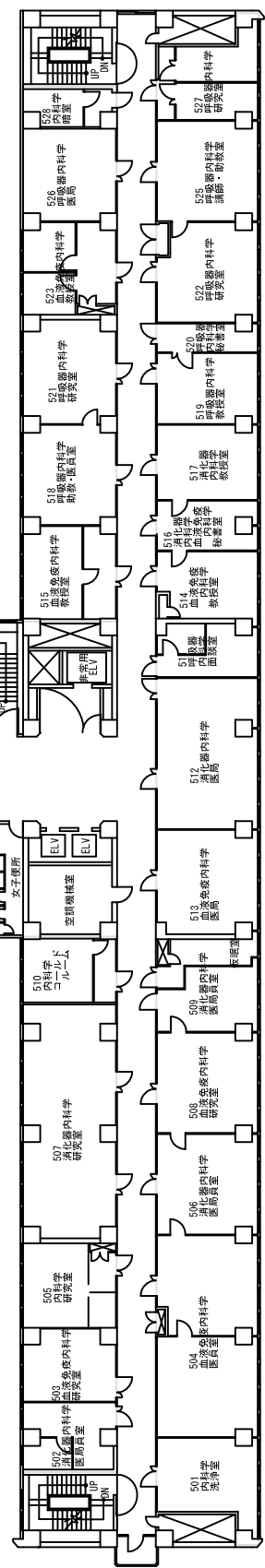
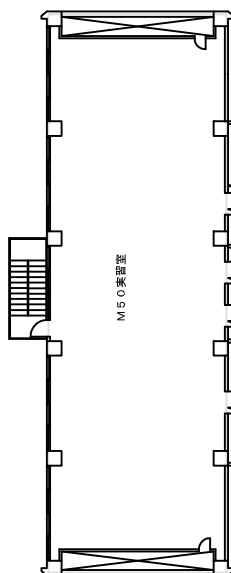
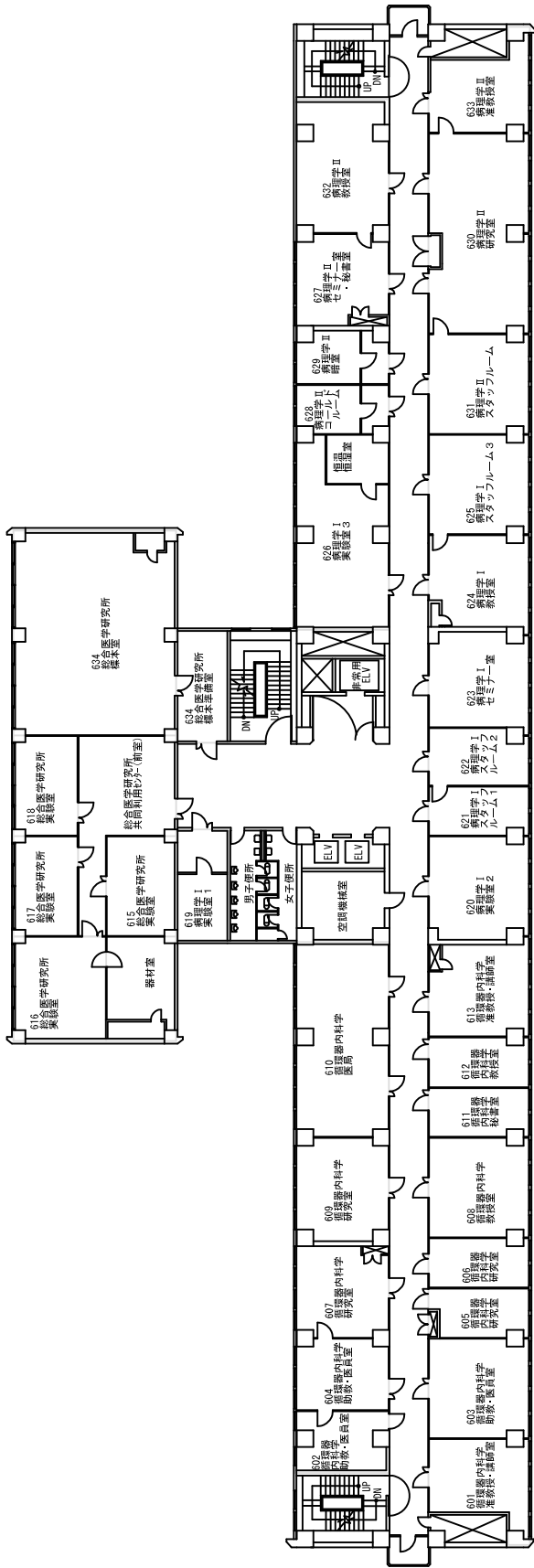


— 図面 - 15 —

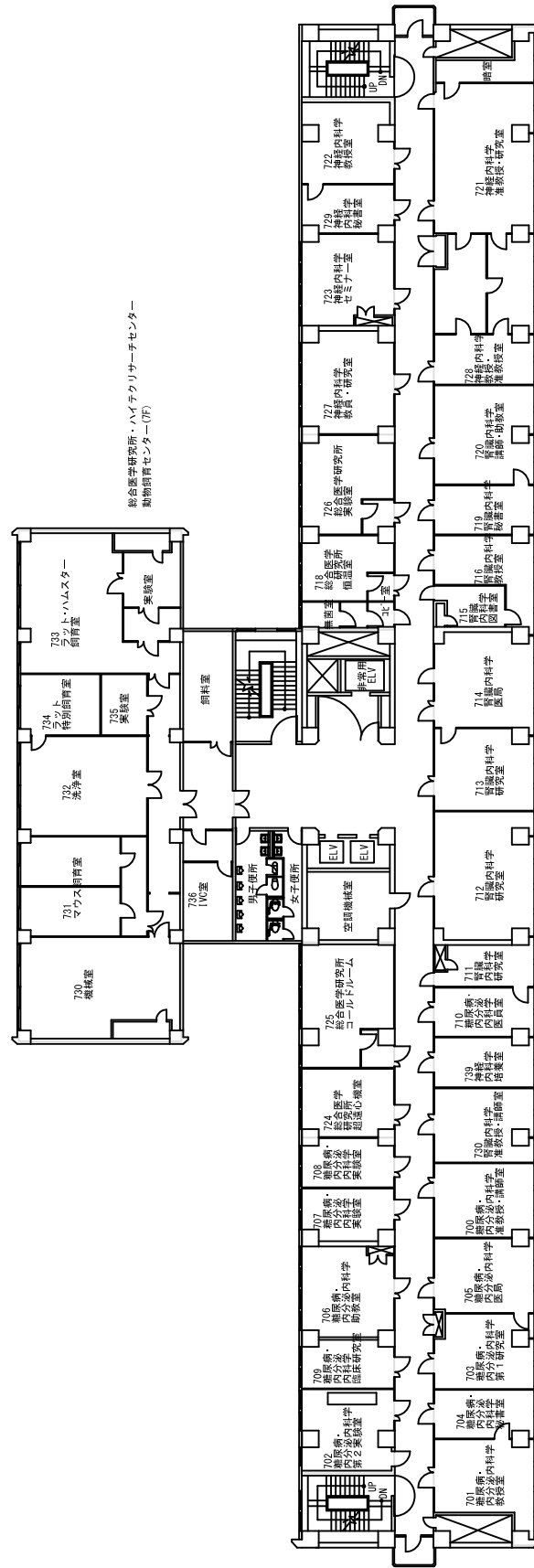
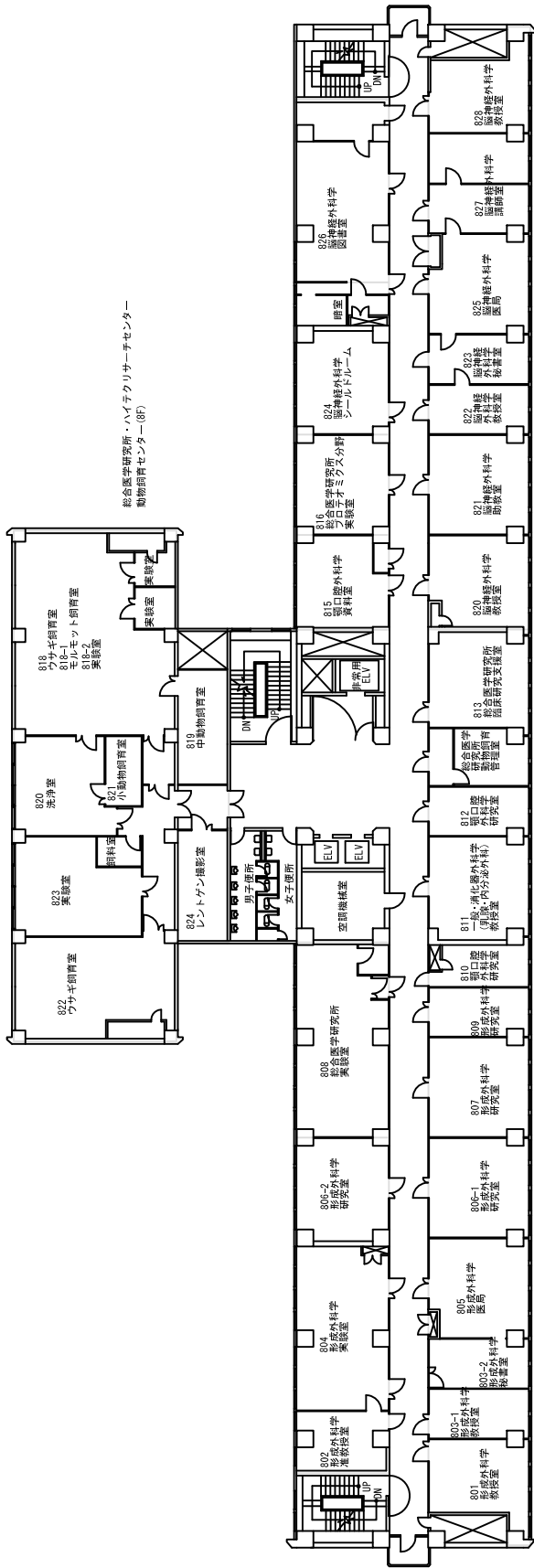
学校法人 金沢医科大学キャンパス 教養棟	建物名称 2階平面図	図面名 1/300 (A3)	縮尺 訂正：2021.4.1



縮尺	図面名	建物名称
1/300 (A3)	3・4階平面図	臨床研究棟
学校法人 金沢医科大学キャンパス		

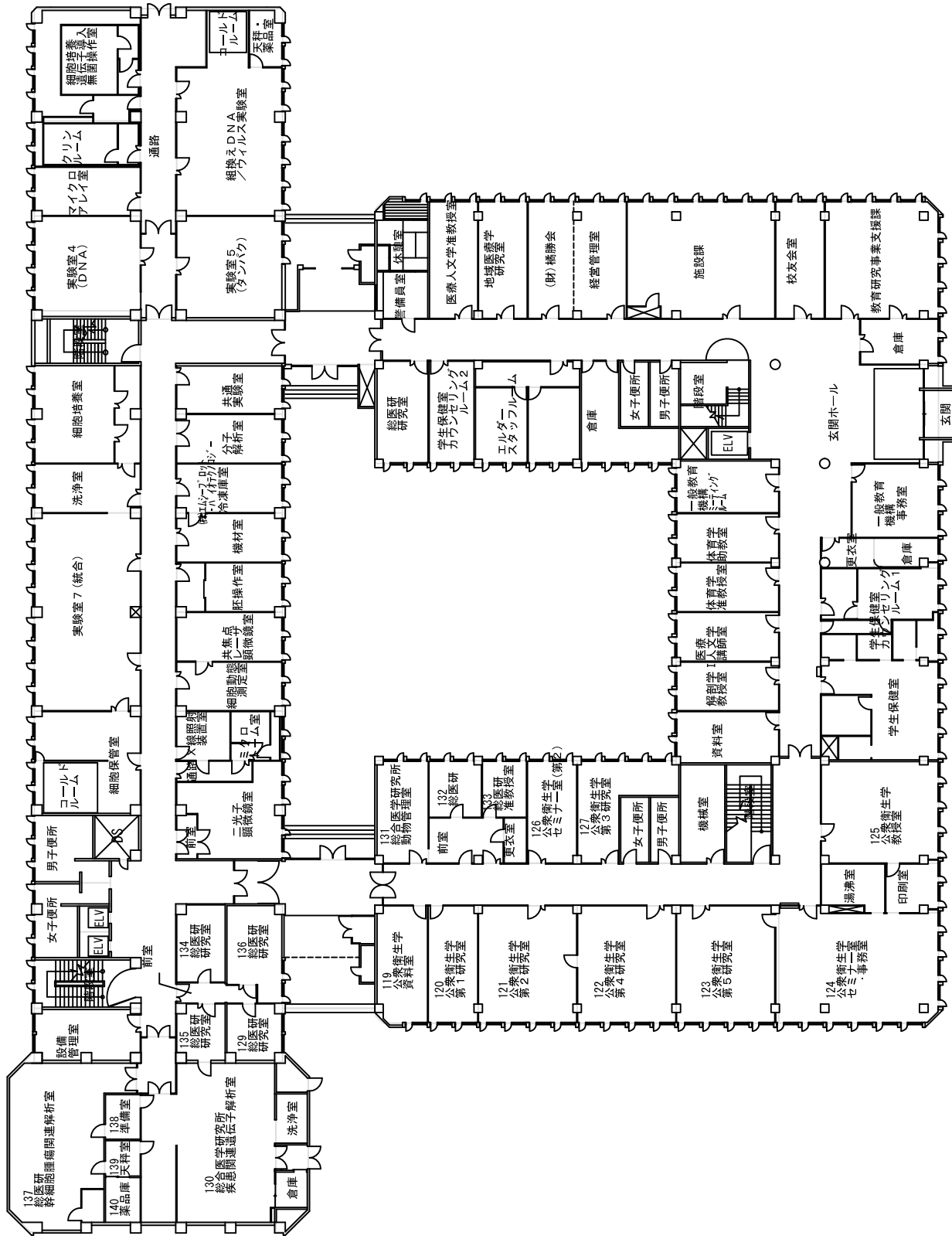


縮尺	図面名	建物名称
1/300 (A3)	5・6階平面図	臨床研究棟
学校法人 金沢医科大学キャンパス		



学校法人 金沢医科大学キャンパス	建物名称	7・8階平面図	縮尺
	臨床研究棟		1/300 (A3)

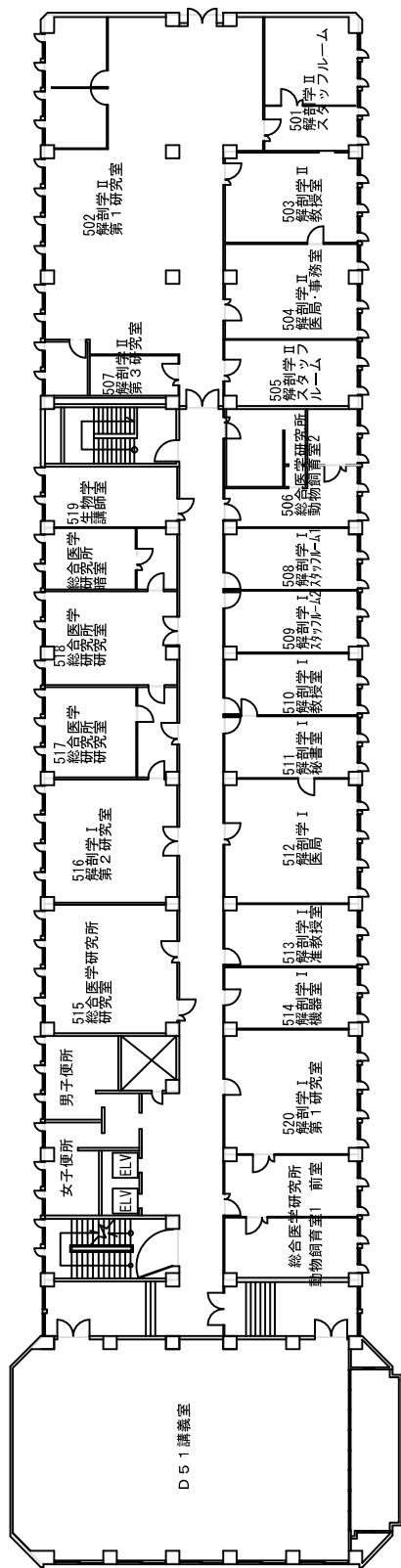
訂正：2021.4.1



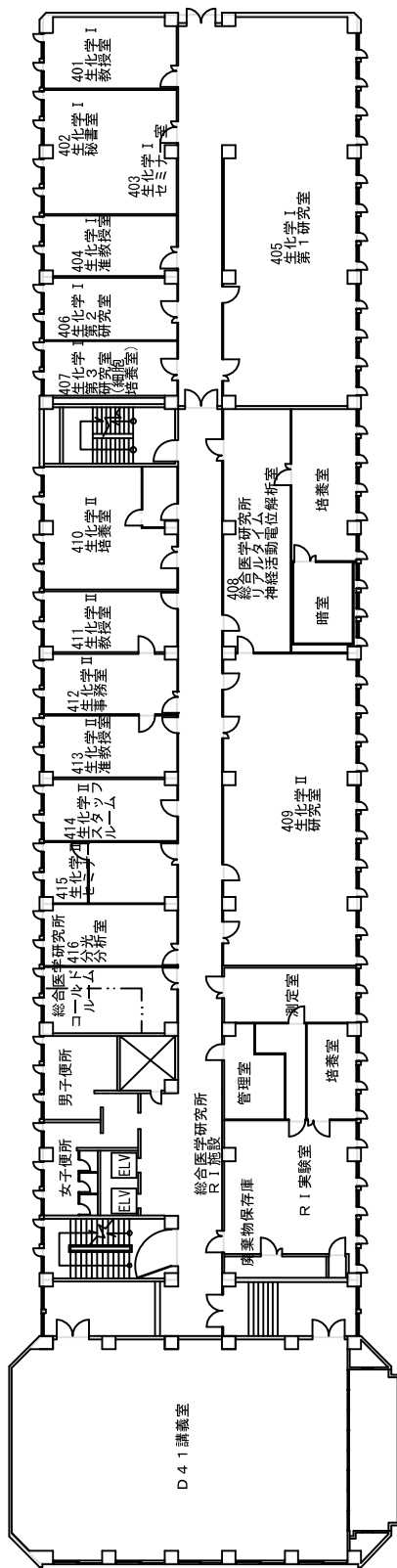
縮尺	図面名	建物名称
1/300 (A3)	1階平面図	基礎研究棟
学校法人 金沢医科大学キャンパス		



学校法人 金沢医科大学キャンパス	建物名称 基礎研究棟	図面名 3階平面図	縮尺 1/300 (A3)
	訂正 : 2021. 4. 1		

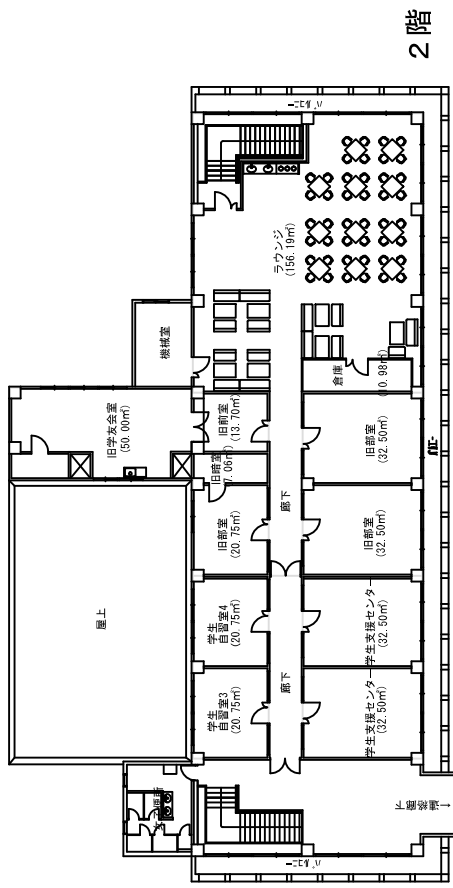


5階

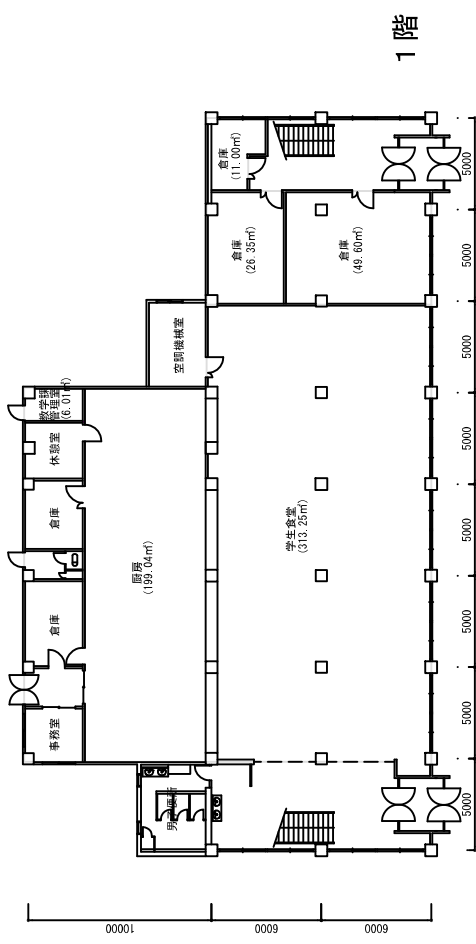


4階

学校法人 金沢医科大学キャンパス	建物名称	基礎研究棟	図面名	4・5階平面図	縮尺	1/300 (A3)
	訂正：2021.4.1					



2階



1階

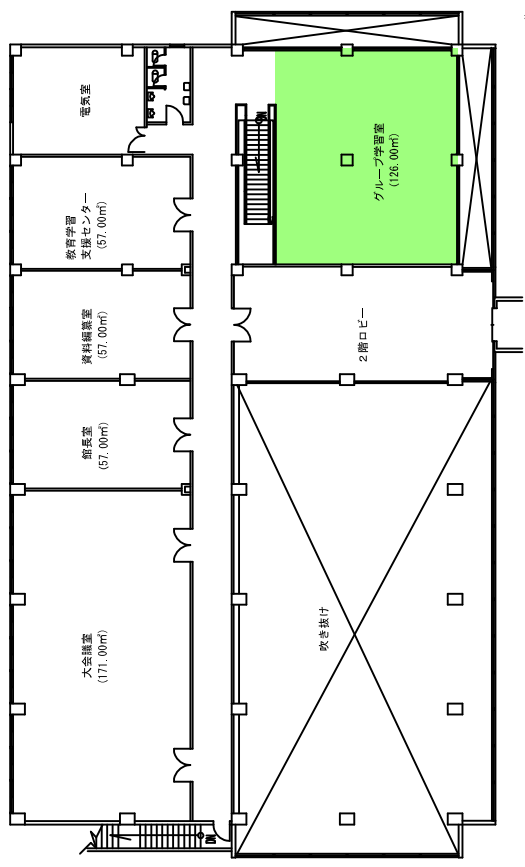
縮尺	図面名	建物名称
1/300 (A3)	1～2階平面図	食堂棟
学校法人 金沢医科大学キャンパス		

【図書館】



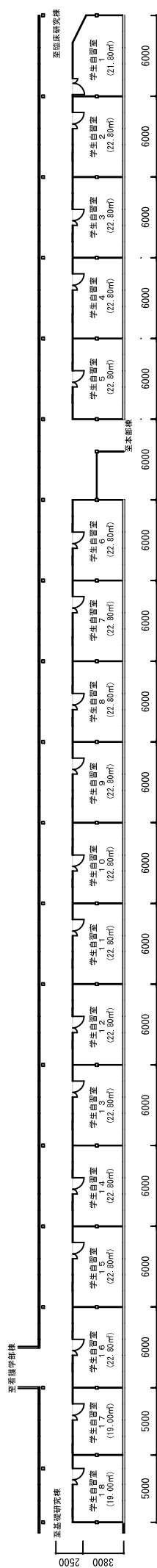
1階

— 30 — 図面



2階

【連絡廊下(学生自習室)】

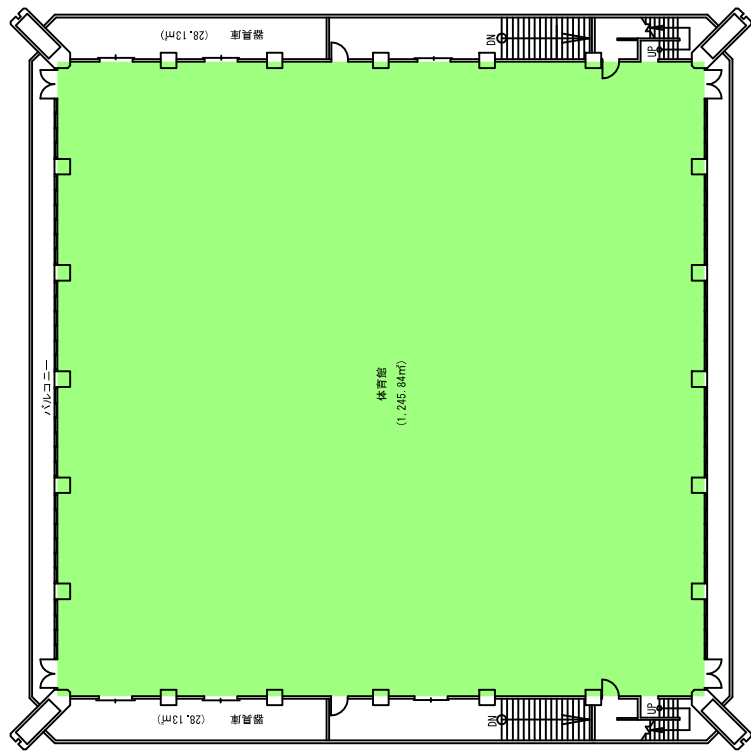


学校法人 金沢医科大学キャンパス

建物名称 図書館 連絡廊下

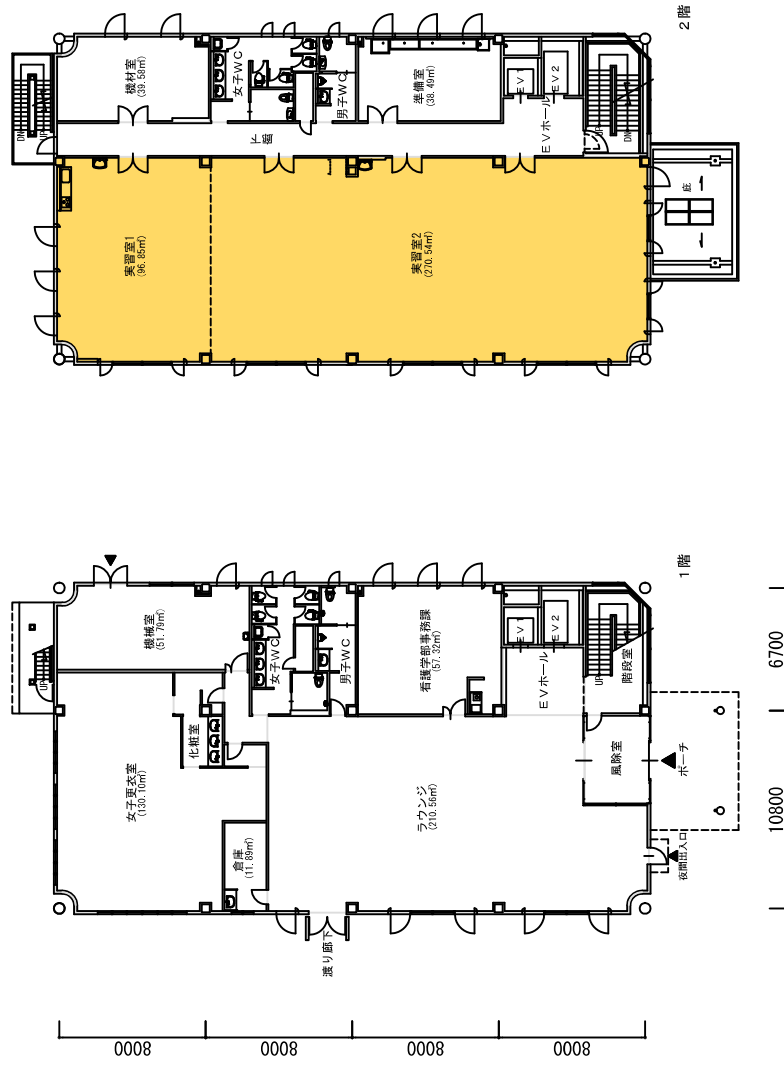
図面名 1～2階平面図

縮尺 1/300 (A3)



— 図面-31 —

学校法人 金沢医科大学キャンパス		建物名称	1～2階平面図	縮尺	1/300 (A3)
		体育館			訂正：2021.4.1



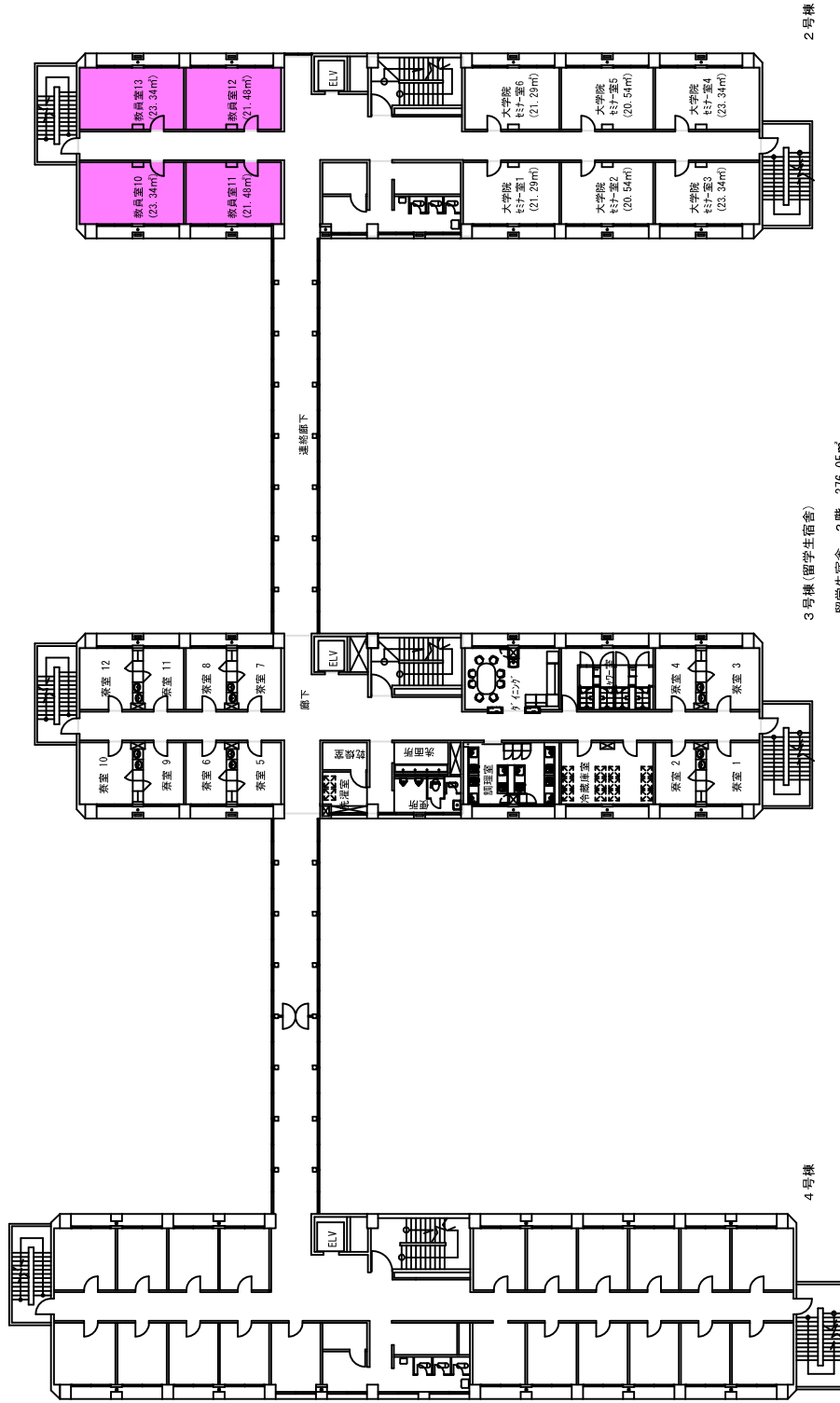
学校法人 金沢医科大学キャンパス	建物名称	看護学部 1号棟	図面名	1・2階平面図	縮尺	1/300 (A3)
	訂正：2021.4.1					



— 図面-33 —

学校法人 金沢医科大学キャンパス	建物名称 看護学部1号棟	図面名 3・4階平面図	縮尺 1/300 (A3)
------------------	-----------------	----------------	------------------

訂正：2021.4.1



2号棟

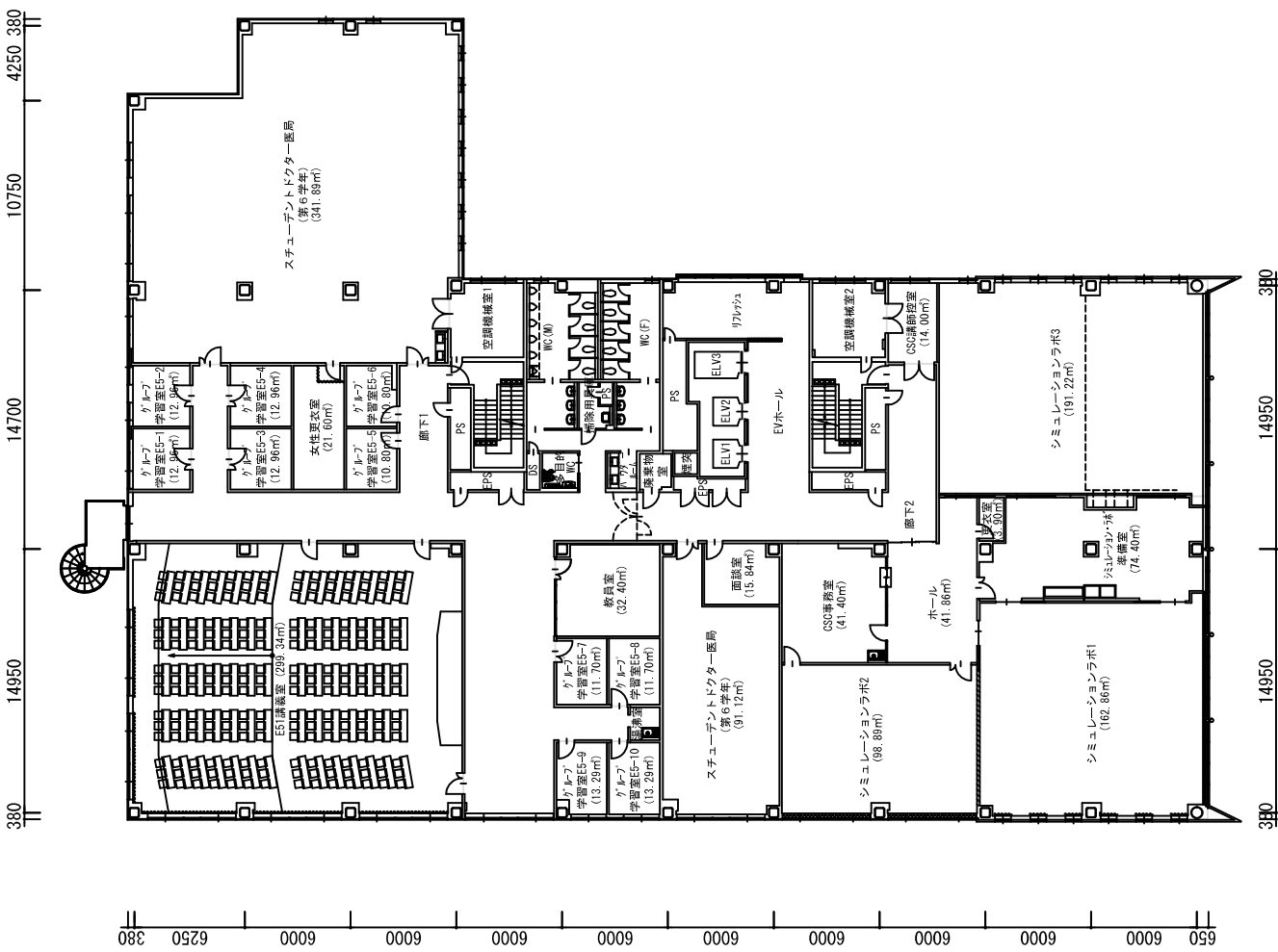
4号棟

3号棟(留学生宿舎)

留学生宿舎 3階 376.05㎡
 4階 376.05㎡
 合計 752.10㎡

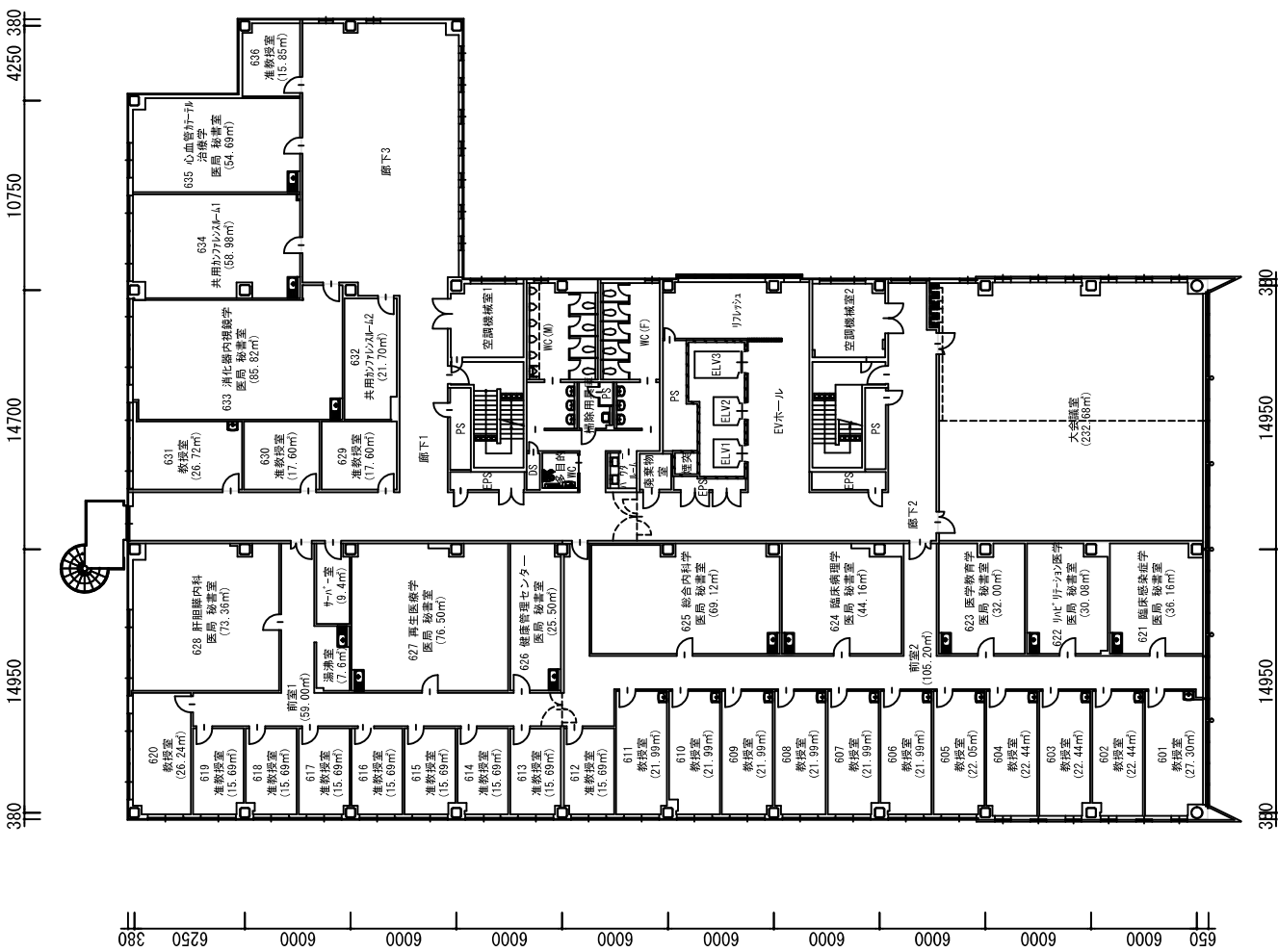
縮尺	図面名	建物名称
1/300 (A3)	3階平面図	看護学部2～4号棟・保育所
学校法人 金沢医科大学キャンパス		

訂正：2021.4.1



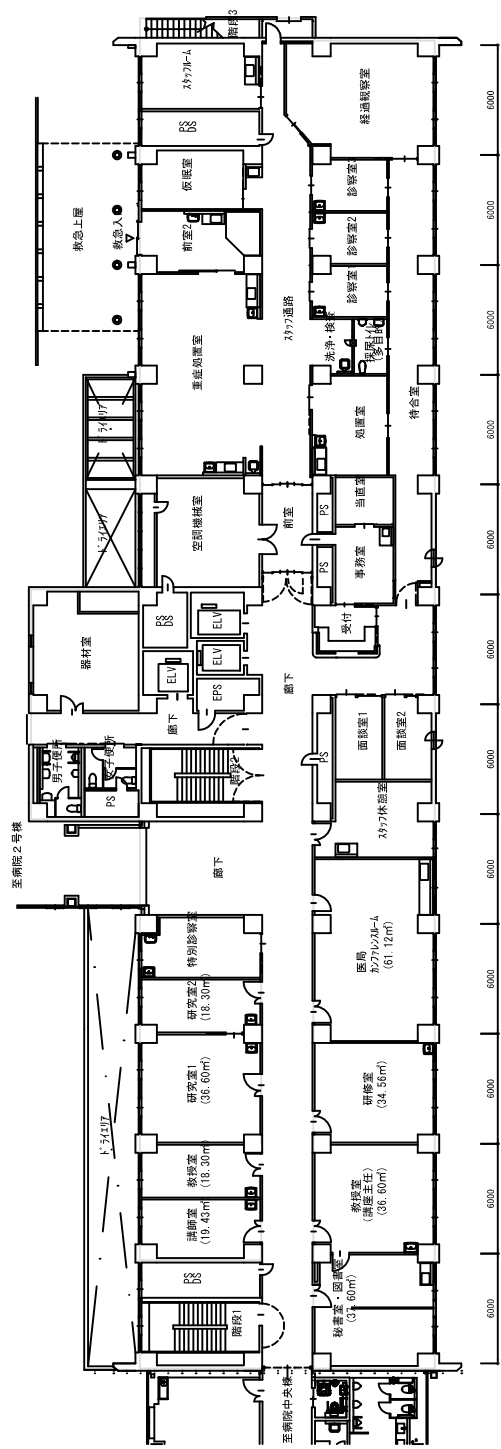
学校法人 金沢医科大学キャンパス	建物名称	医学教育棟	縮尺	1/300 (A3)
	図面名	5階平面図		

訂正：2021.4.1



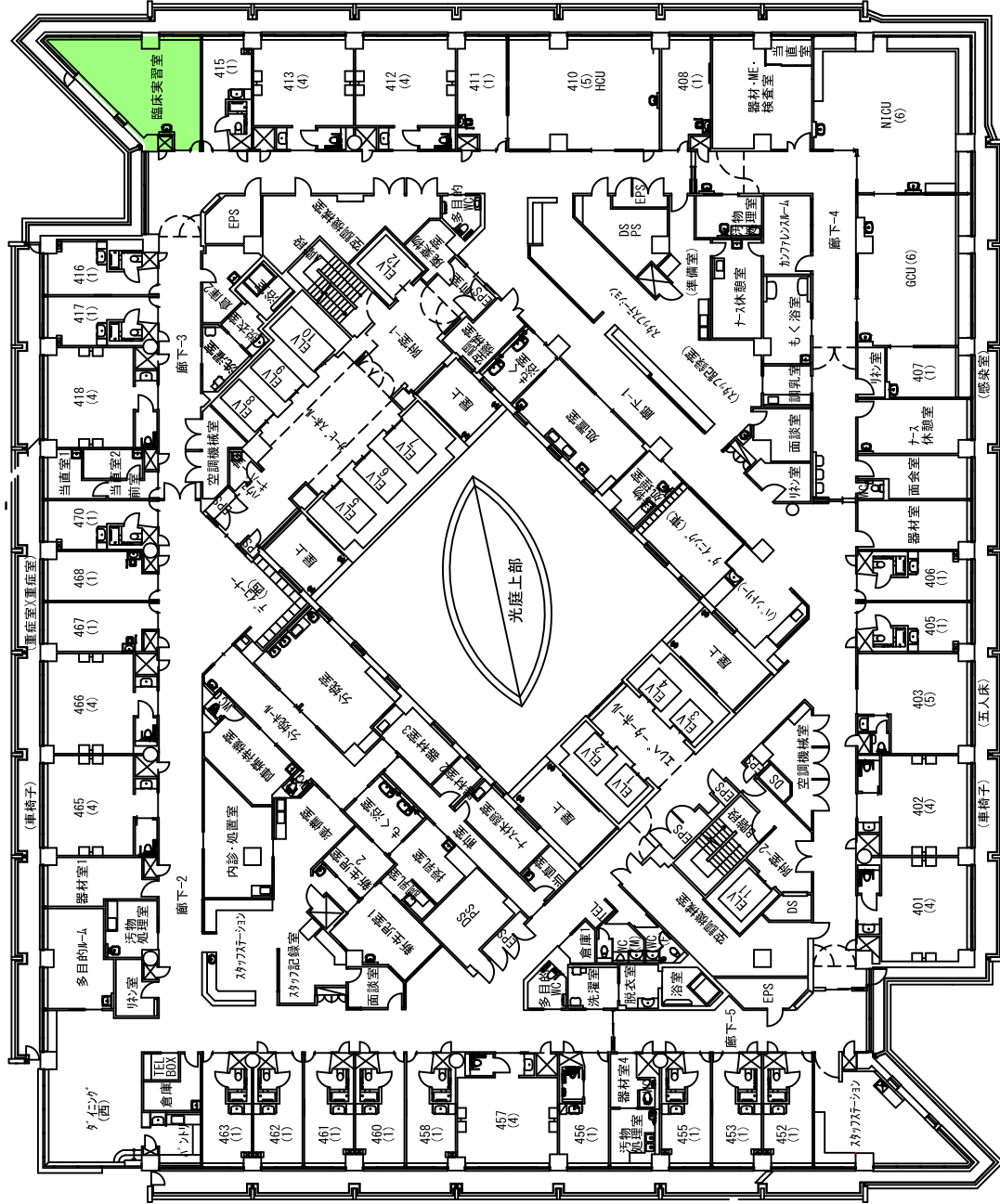
— 図面 44 —

学校法人 金沢医科大学キャンパス	建物名称 医学教育棟	図面名 6階平面図	縮尺 1/300 (A3)
	訂正：2021.4.1		



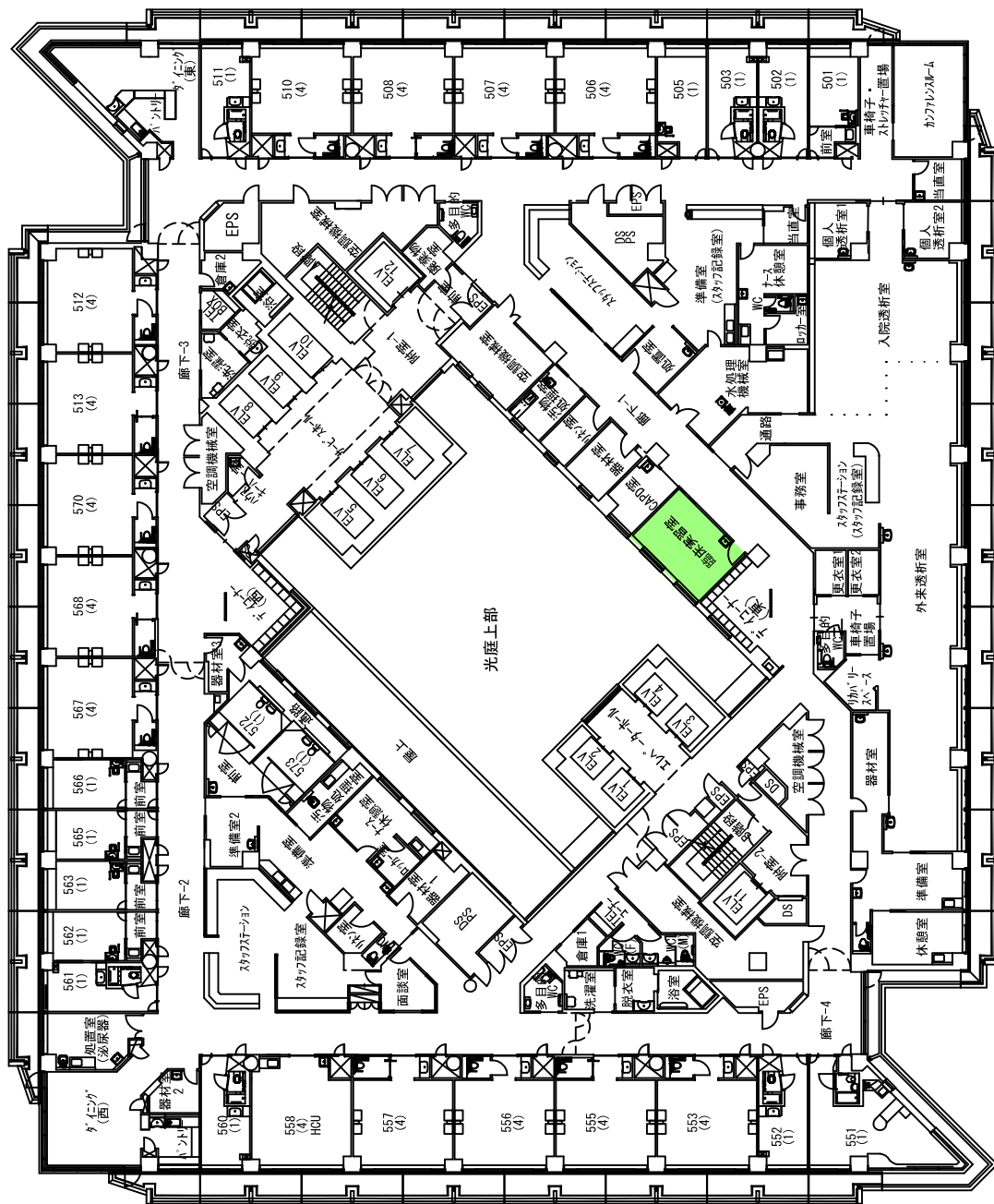
救急医療センター
(救命救急科)

救急医学



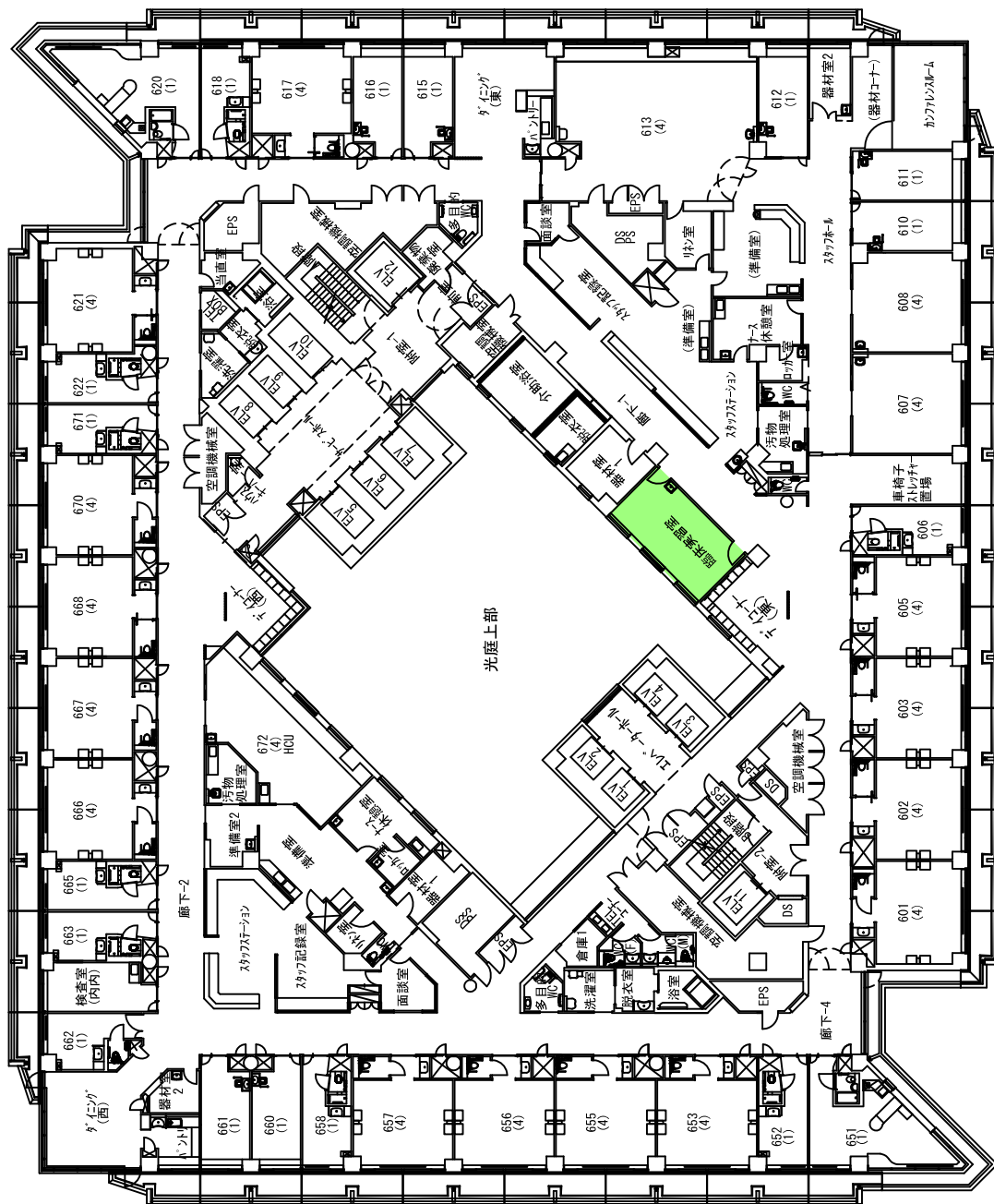
— 図面 46 —

学校法人 金沢医科大学キャンパス 病院 1 号棟	建物名称 病院 1 号棟	図面名 4 階平面図	縮尺 1/300 (A3)
	訂正 : 2020. 4. 1		



— 図面-47 —

縮尺	1/300 (A3)
建物名称	病院 1 号棟
図面名	5 階平面図
学校法人 金沢医科大学キャンパス	訂正 : 2020. 4. 1

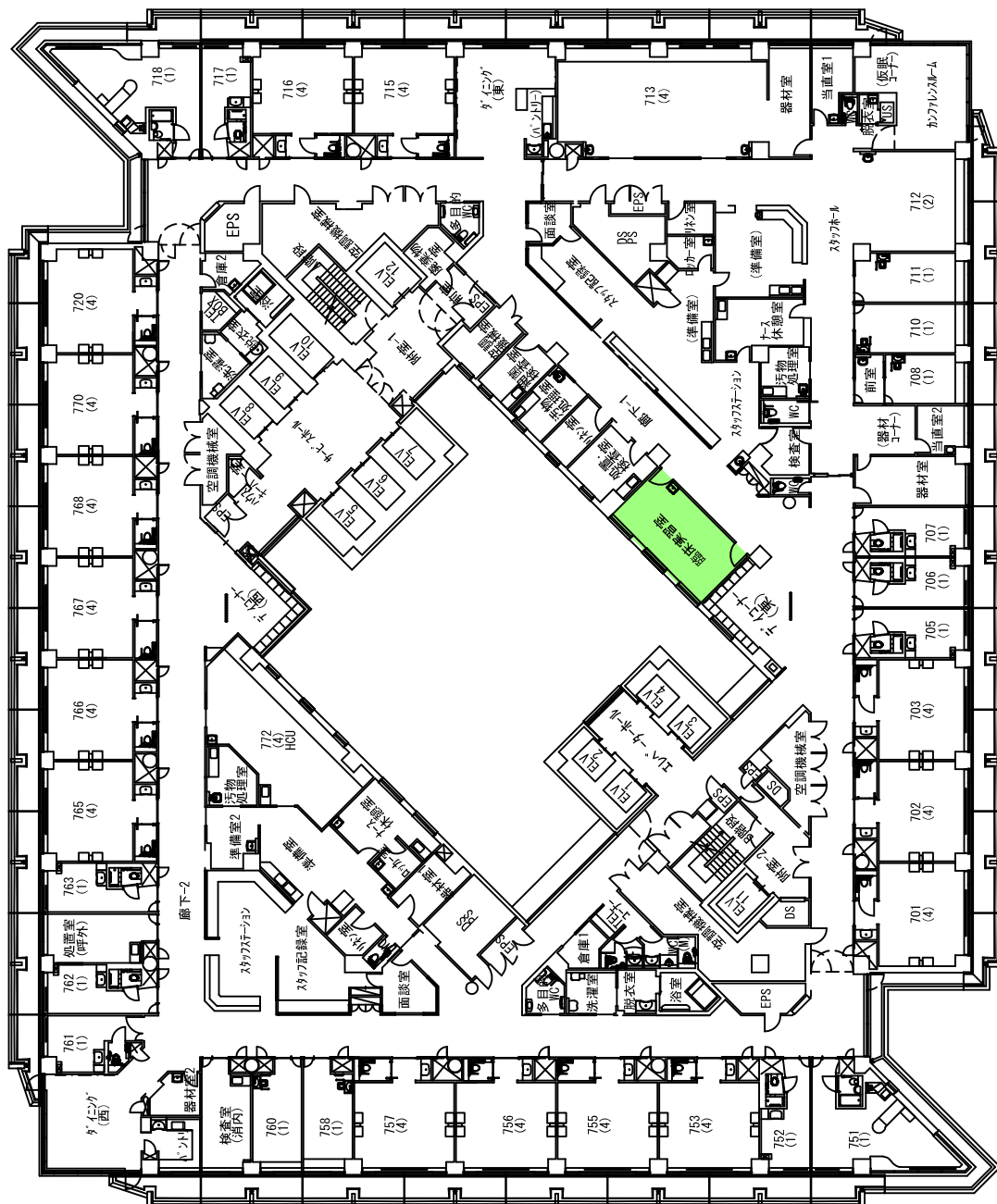


学校法人 金沢医科大学キャンパス

建物名称
病院 1 号棟

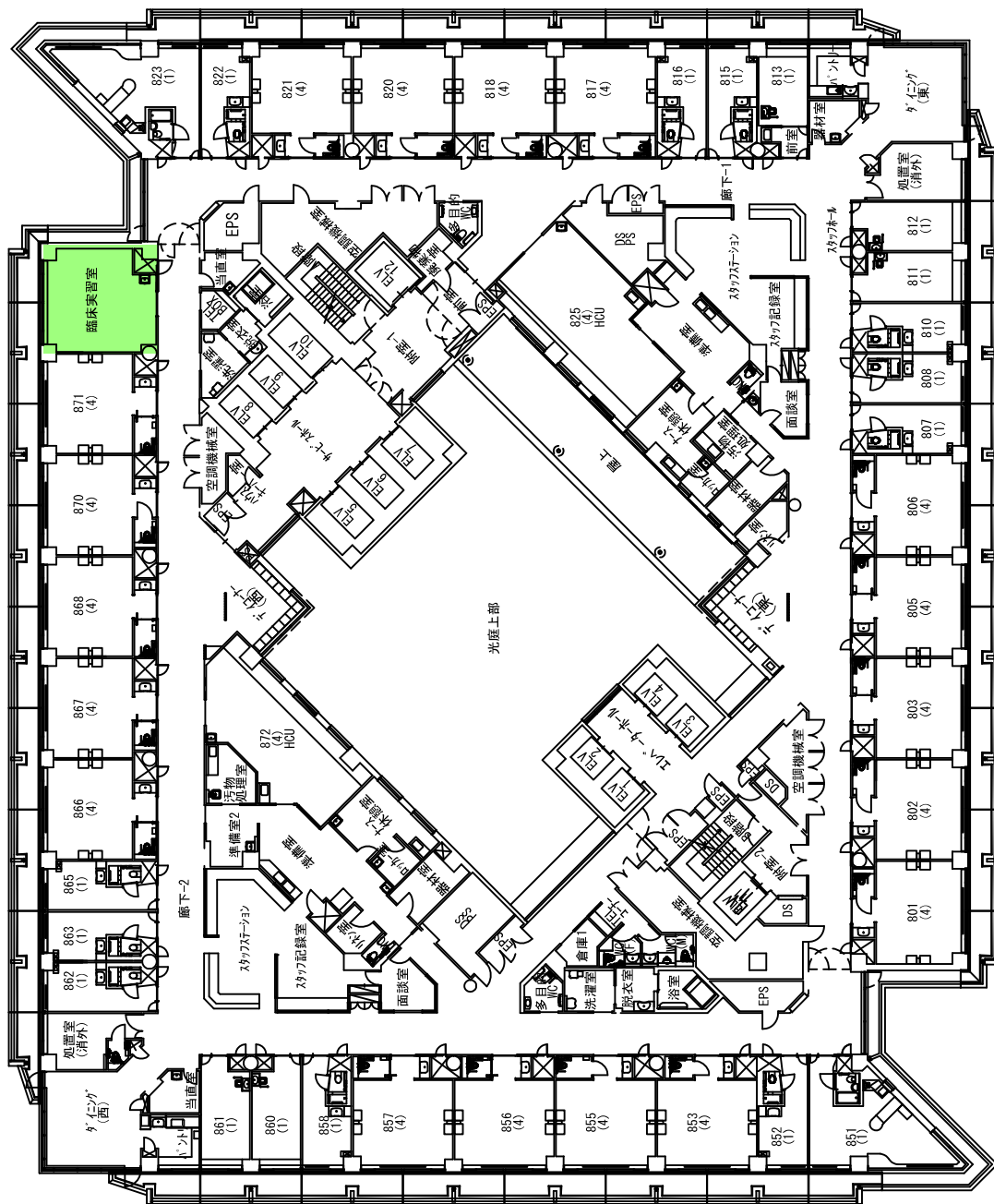
図面名
6 階平面図

縮尺
1/300 (A3)
訂正 : 2020. 4. 1



— 図面 49 —

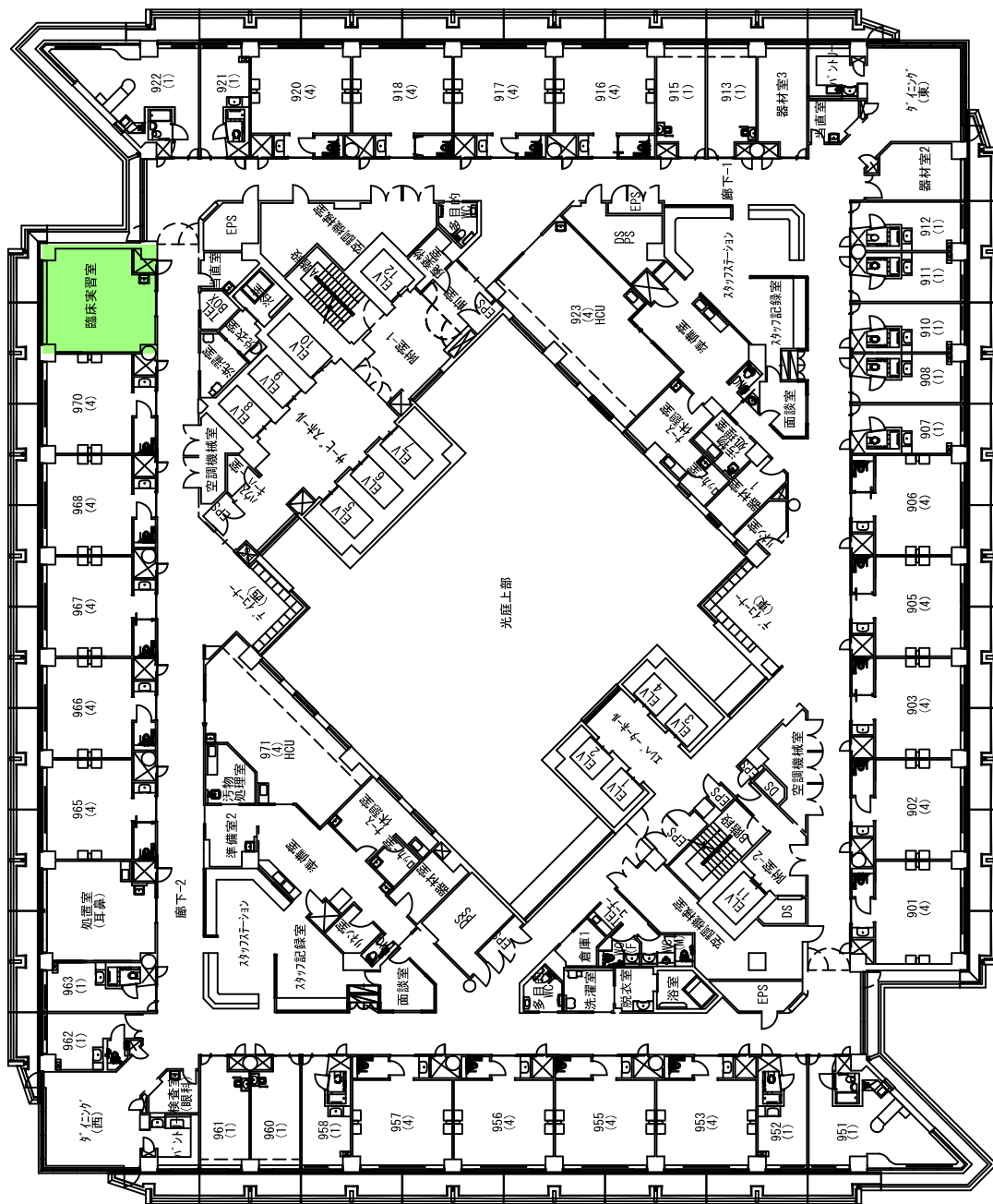
学校法人 金沢医科大学キャンパス	建物名称 病院 1 号棟	図面名 7 階平面図	縮尺 1/300 (A3)
	訂正 : 2020. 4. 1		



— 図面-50 —

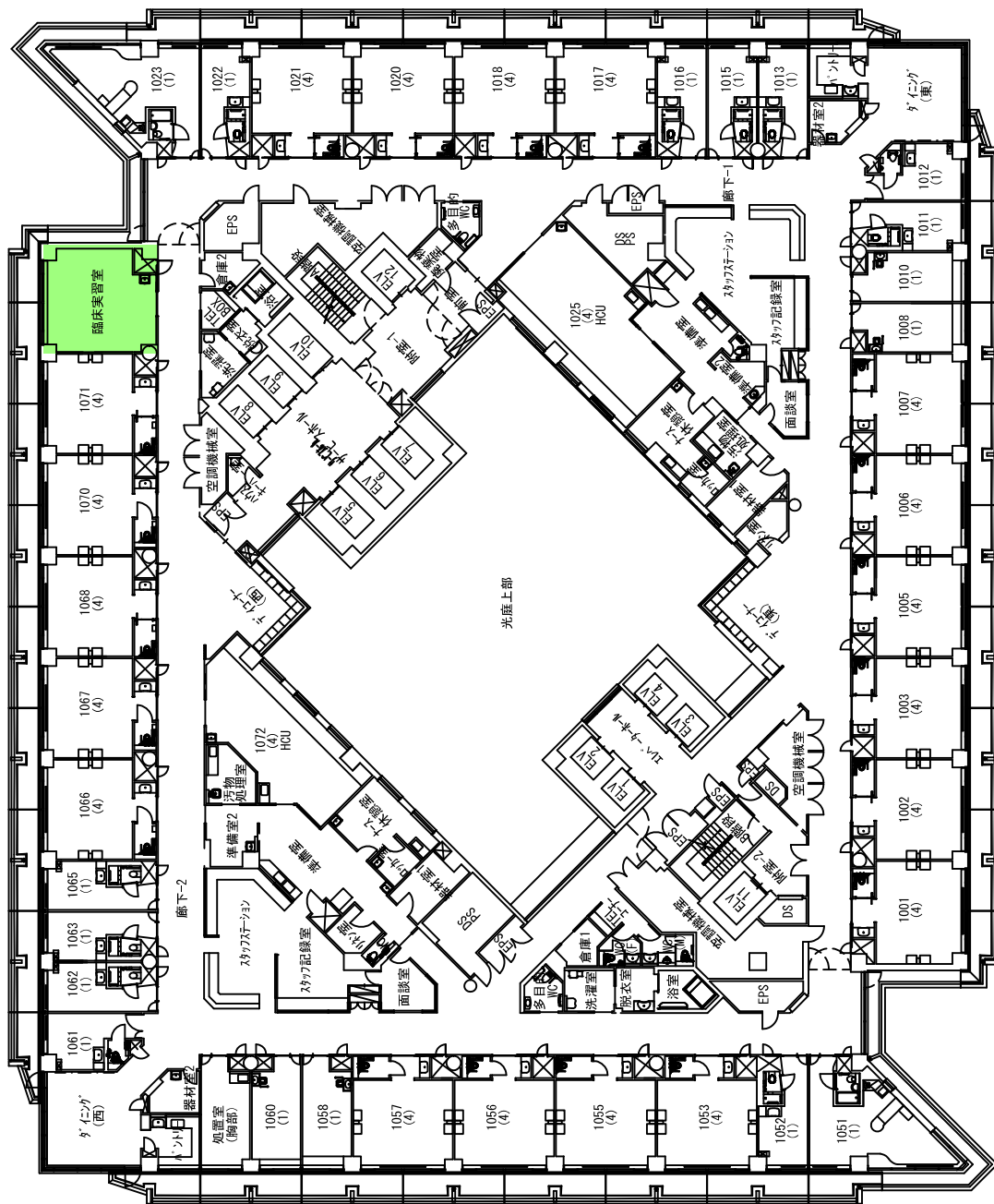
縮尺	図面名	建物名称
1/300 (A3)	8階平面図	病院1号棟
学校法人 金沢医科大学キャンパス		

訂正：2020.4.1

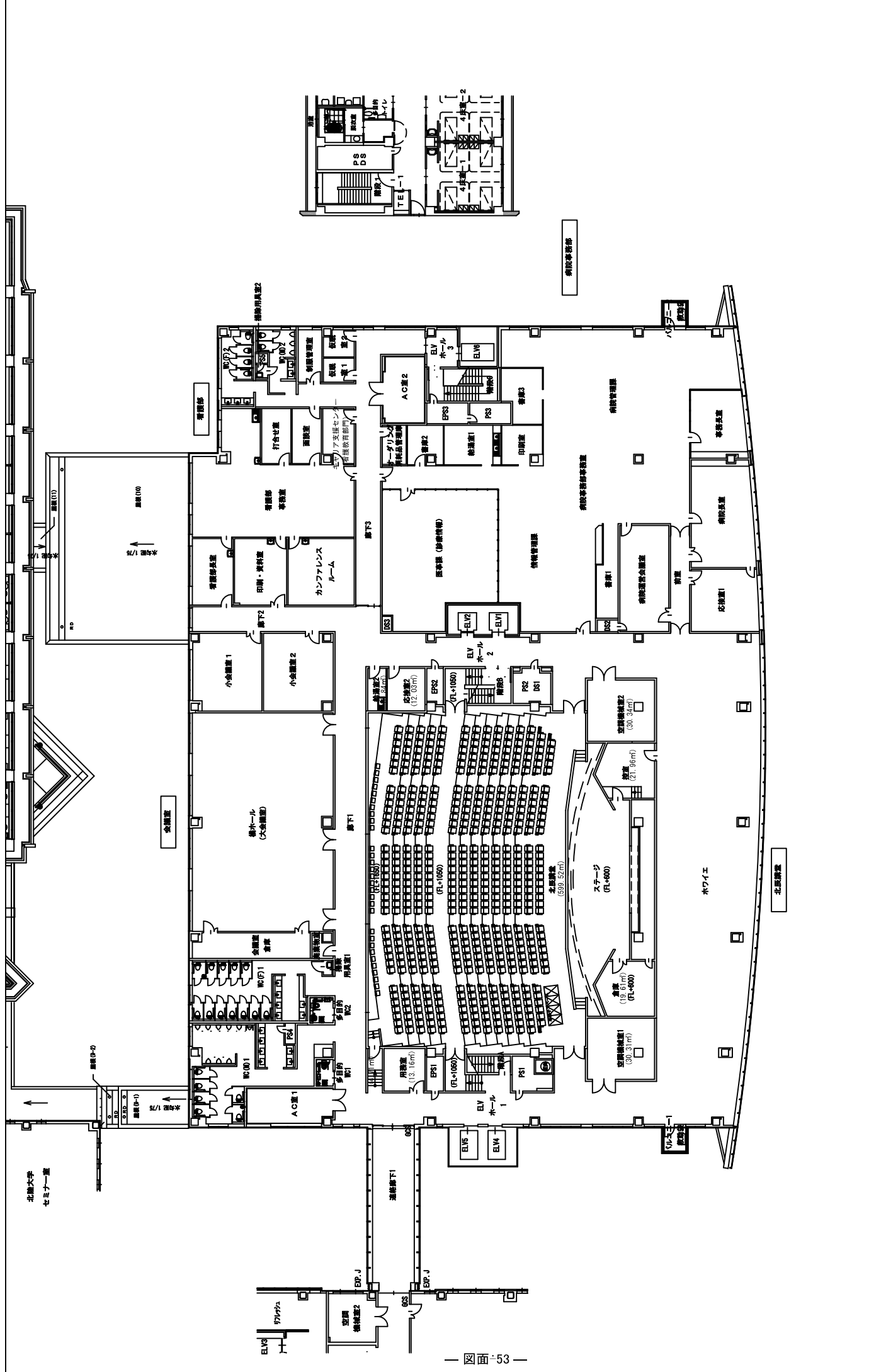


— 図面-51 —

縮尺	1/300 (A3)	訂正 : 2020. 4. 1
建物名称	病院 1 号棟	学校法人 金沢医科大学キャンパス
図面名	9 階平面図	



学校法人 金沢医科大学キャンパス	建物名称 病院 1 号棟	図面名 10 階平面図	縮尺 1/300 (A3)
	訂正：2020. 4. 1		



— 図面-53 —

学校法人 金沢医科大学キャンパス

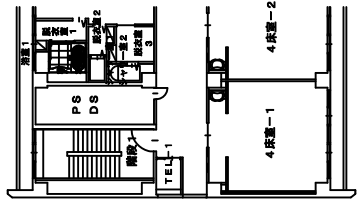
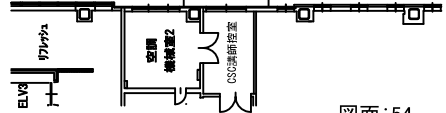
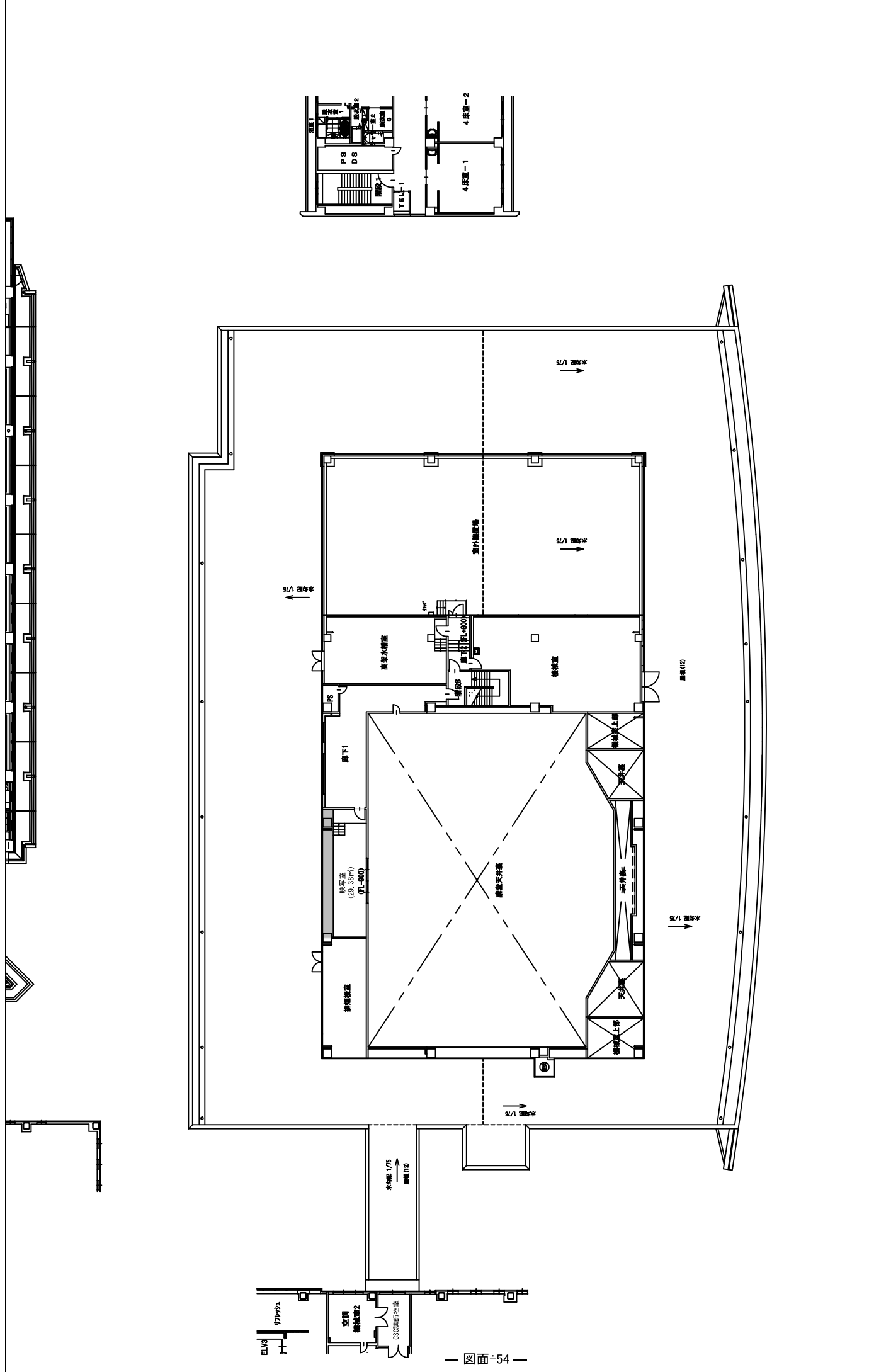
建物名称
病院中央棟

図面名
4階平面図

縮尺

1/300 (A3)

訂正 : 2020. 4. 1



— 図面-54 —

縮尺	図面名	建物名称
1/300 (A3)	5階平面図	病院中央棟
学校法人 金沢医科大学キャンパス		

金沢医科大学学則

第1章 総則

(目的及び使命)

第1条 金沢医科大学（以下「本学」という。）は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、医学・看護学に関する理論と応用とを教授研究し、医の倫理に徹して日進月歩の医学の進展に対応し得る有能な医師並びに保健医療及び福祉に貢献できる看護職者を育成することを目的とし、医学・看護学の発展と地域社会の医療開発、健康増進、福祉の向上に寄与することを使命とする。

(自己点検・評価)

第1条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び使命を達成するため、教育研究等の活動状況について自主的に自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 自己点検・評価の実施体制等については、別に定める。

(学部及び学科)

第2条 本学に医学部医学科及び看護学部看護学科を置く。

(定員)

第3条 医学部医学科にあつては入学定員110名、収容定員660名、看護学部看護学科にあつては、入学定員75名、収容定員300名とする。

第2章 修業年限及び在学期間

(修業年限)

第4条 本学の修業年限は、医学部にあつては6年、看護学部にあつては4年とする。

(在学期間)

第5条 在学期間は、次のいずれかの年限を超えることができない。

(1) 医学部

① 前条の修業年限の2倍の年数。ただし、第18条第1項の規定により入学した者については、同条第3項の規定により定められた修業年限の2倍の年数。

② 第1・2学年併せて4年、第3・4学年併せて4年、第5・6学年併せて4年。

(2) 看護学部

① 前条の修業年限の2倍の年数。

② 第1・2学年併せて4年、第3・4学年併せて4年。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第6条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学期)

第7条 学年は、次の学期に分ける。

(1) 前期 4月1日から 9月30日まで

(2) 後期 10月1日から 3月31日まで

(休業日)

第8条 休業日は次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日 「国民の祝日に関する法律」(法178号)に基づく休日

(3) 開学記念日 6月1日

(4) 休業(春季、夏季、冬季)については別に定める。

2 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

第4章 教育課程及び履修方法

(教育課程、履修方法及び単位の計算方法)

第9条 教育課程は、医学部については別表1、看護学部については別表2のとおりとし、その他履修に関し必要な事項は別に定める。

2 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準によるものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験及び実習については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

(授業科目の評価)

第10条 授業科目の評価は、試験その他の審査によりこれを行う。

2 前項の試験及び審査の方法は別に定める。

(授業科目の成績)

第11条 授業科目の成績は、秀、優、良、可、不可の評語で表わし、秀、優、良、可を合格とする。

第5章 入学

(入学の時期)

第12条 入学の時期は、学年又は学期の始めとする。

(入学資格)

第13条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者

- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者
又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するもの
として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う
高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定
規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒
業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達
した者

(入学志願手続、入学検定料)

第14条 入学を志願する者は、所定の入学願書に別表3の入学検定料を添えて所定の期日までに願出しなければならない。ただし、本学の入学試験を複数回にわたり受験する場合は、入学検定料を一部減額することがある。

2 既に納入した入学検定料は、返還しない。

(入学者の選考)

第15条 入学を志願する者については、本学において選考を行う。

2 選考の方法は別に定める。

(入学手続)

第16条 入学試験の合格者は、連帯保証人2名を定め指定する期日までに誓約書、その他入学試験要項において指定する書類を添えて学長に提出するとともに、所定の学納金を納入しなければならない。

2 前項に規定する連帯保証人は、独立の生計を営む成年者で本学

に対して当該学生に関するいっさいの責任を負うことのできる者でなければならない。

- 3 第1項に規定する連帯保証人のうち原則として1人は父母又はその他の親族とする。
- 4 学長は、連帯保証人が適当でないと認めたときは変更させることができる。

(入学許可)

第17条 学長は、前条に規定する入学手続を完了した者に、入学を許可する。

(編入学)

第18条 本学への編入学を志願する者があるときは、別に選考のうえ、これを許可することがある。

- 2 前項の規定により、入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い、その他必要な事項については、当該学部の教授会の審議を経て、学長が決定する。

第6章 休学、復学及び退学等

(休学)

第19条 疾病又はその他の事由により三月以上修学を中止しようとする者は、その事由を証明する書類を添え第16条第3項に規定する連帯保証人と連署の上、学長の許可を得てその学年の終わりまで休学することができる。

(休学命令)

第20条 疾病その他の事由により、修学に適しないと認められる者に対しては、学長は休学を命ずる。

(復学)

第21条 休学者が復学しようとするときは、事由を具して学長に

願い出て許可を得なければならない。

(休学期間)

第22条 休学期間は、通算2年を超えることができない。

2 休学した期間は、在学期間に算入しない。

(退学)

第23条 退学しようとする者は、事由を具し第16条第3項に規定する連帯保証人と連署の上、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第24条 学生が次の各号の一に該当するときは、当該学部の教授会の審議を経て、学長はこれを除籍する。

(1) 死亡又は行方不明の者

(2) 第5条の期間を超えた者

(3) 催告を受けてもなお授業料等を滞納した者

第7章 学納金

(入学金及び授業料等)

第25条 入学金及び授業料等の額は、別表4のとおりとする。

「授業料等」とは、授業料、設備更新費及び教育充実費のことをいう。

2 授業料等は、別表5に定める期日までに納入しなければならない。

3 第16条第1項に規定する「所定の学納金」とは、入学金及び授業料等をいう。

4 既に納付した入学金は、返還しない。

5 既に納入した授業料等は、第17条の規定により入学を許可された者が指定の期日までに入学を辞退した場合を除き、原則として返還しない。

6 第18条に規定する編入学生を受け入れる場合、入学金及び授業料等は、別に定める。

(授業料等の減免)

第26条 学長は、特に優秀な学生に対して授業料等を減免することができる。

2 授業料等の減免に関する事項は、別に定める。

(授業料等の分納、延納)

第27条 学長は、特別の事情のある学生に対しては、授業料等の分納又は延納を許可することができる。

2 授業料等の分納及び延納に関する事項は、別に定める。

(休学中、停学中及び退学時の授業料等)

第28条 休学中及び停学中の授業料等は徴収する。ただし、学期の初日から末日まで休学した場合は、休学した学期の授業料、設備更新費の半額を返還する。

2 前期に退学した場合は、後期の授業料等は徴収しない。

第8章 卒業及び学位

(卒業)

第29条 本学において所定の修業年限以上在学し、所定の課程を修了した者については、当該学部の教授会の審議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して卒業証書を授与する。

(学位)

第30条 本学を卒業した者には、医学部においては学士（医学）、看護学部においては学士（看護学）の学位を授与する。

第9章 賞罰

(表彰)

第31条 学生として、学業、人物ともに優れ、他の学生の模範となる者に対し、当該学部の教授会の審議を経て、学長は表彰することがある。

2 表彰に関する規程は、別に定める。

(懲戒)

第32条 学生の懲戒は、当該学部の教授会の審議を経て、学長がこれを行う。

2 懲戒に関する規程は、別に定める。

第10章 教職員の組織

(教職員)

第33条 本学に次の教職員を置く。

学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員、その他。

2 前項の組織及び定員については別に定める。

3 学長は本学を代表し、教育理念に基づいて校務をつかさどり、所属職員を統督する。

4 副学長は学長指示のもとに学長を補佐し、命を受けて校務をつかさどる。

5 学部長は学長指示のもとに当該学部の校務をつかさどり、所属職員を統括し教育及び研究の責に任ずる。

第11章 教授会

(教授会)

第34条 本学の各学部に、教授会を置く。

2 教授会は、医学部においては金沢医科大学医学部教授会規程第

2条の規定、看護学部においては金沢医科大学看護学部教授会規程第2条の規定により組織する。

3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、進級及び卒業に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長等（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 教授会に関する規程は、別に定める。

第12章 附属施設

(図書館)

第35条 本学に図書館を置く。

2 図書館に関する規程は別に定める。

(大学病院)

第36条 本学に大学病院を置く。

2 大学病院に関する規程は別に定める。

(総合医学研究所)

第37条 本学に総合医学研究所を置く。

2 総合医学研究所に関する規程は別に定める。

第13章 学則の改廃

第38条 この学則の改廃は、学長が発議し、当該学部の教授会の審議を経て理事会の承認を得て、これを行う。

附 則

この学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和49年9月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和54年4月1日から施行する。ただし、第5条第2項については、昭和54年度入学学生からこれを適用する。

附 則

この改正学則は、昭和56年4月1日から施行し、昭和55年12月25日から適用する。

附 則

この改正学則は、昭和57年5月28日から施行し、昭和57年4月1日から適用する。

附 則

この改正学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、第25条第1項の改正規定については、昭和58年度以前の入学学生については、各入学年度ごとに定めたとおりとする。

附 則

この改正学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、第

5条第2項及び第21条第1項の改正規定については、昭和61年度入学学生からこれを適用する。

附 則

この改正学則は、昭和61年5月26日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和63年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年3月31日以前に入学し、引き続き在学する者にかかる授業料等の額は、なお、従前の例による。

附 則

この改正学則は、昭和63年11月1日から施行し、昭和63年9月12日から適用する。

附 則

この改正学則は、平成元年4月1日から施行する。ただし、第25条第3項に規定する別表3のうち設備更新費については、昭和57年度以降の入学学生について適用する。

附 則

この改正学則は、平成元年5月29日から施行し、平成2年度入学学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成3年6月1日から施行する。ただし、第25条第3項に規定する別表3のうち設備更新費は、昭和57年

度以降の入学学生について平成3年10月1日から適用する。

附 則

この改正学則は、平成3年8月19日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成10年6月1日から施行し、平成11年度入学学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成12年6月1日から施行し、平成13年度入学学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成13年6月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 第5条第2項の改正規定については、平成15年度入学学生から適用する。
- 3 平成14年度以前の入学学生で、第23条により退学した者の再入学に関しては、なお、従前の例による。

附 則

この改正学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成16年6月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成17年1月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第14条第1項に規定する別表2については、平成18年度入学を志願する者から適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年度から平成21年度までの各年度における看護学部看護学科の第3学年編入学定員及び収容定員は、この規則による改正後の金沢医科大学学則第3条の規定にかかわらず次の表のと

おりとする。

年 度	編入学定員 (第3学年)	収容定員
平成19年度	0名	60名
平成20年度	0名	120名
平成21年度	10名	190名

附 則

- 1 この改正学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 第25条に規定する別表4及び別表5については、平成20年度入学生から適用する。
- 3 平成20年度第1学年次第2学期編入学生については2年目の教育充実費のうち250万円を減免する。

附 則

この改正学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、令和2年度から令和8年度までの医学部医学科の入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入学定員	107名	107名	110名	110名
収容定員	657名	654名	654名	654名

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	110名	110名	110名
収容定員	654名	654名	657名

附 則

- 1 この改正学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、令和3年度から令和8年度までの医学部医学科の入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入学定員	108名	110名	110名
収容定員	655名	655名	655名

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	110名	110名	110名
収容定員	655名	655名	658名

- 3 第19条及び第23条における連帯保証人は、令和2年度以前の入学生については保証人として適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、令和3年6月1日から施行する。
- 2 平成28年度から令和元年度までの各年度における医学部第1学年次後期編入学生の授業料等及びその納入期日は、第25条に規定する別表4及び別表5を準用する。

附 則

- 1 この改正学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、令和4年度から令和9年度までの医学部医学科の入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入学定員	111名	110名	110名
収容定員	656名	656名	656名

年 度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入学定員	110名	110名	110名
収容定員	656名	659名	661名

附 則

- 1 この改正学則は、令和5年4月1日から施行する。

別表1 医学部の授業科目等（第9条関係）

区分	授業科目	単位数 (授業時間数)						備考	
		第1学年次	第2学年次	第3学年次	第4学年次	第5学年次	第6学年次		計
一般 教育 科目	総合人間科学	2 (30)						2 (30)	2単位選択必修
	人間性 育 成 科 目	* 1 (30)						* 1 (30)	必修 *印は全て 実習・演習含む
	健康の科学	* 1.5 (45)						* 1.5 (45)	
	人の行動と心理	1 (15)						1 (15)	
	アカデミック・スキルズ	* 1 (30)						* 1 (30)	
	クリティカル・シンキング	* 1 (30)						* 1 (30)	
	ドイツ語	* 1 (30)						* 1 (30)	
	医学 教 育 準 備 科 目	* 2.5 (38)						* 2.5 (38)	
	細胞生物学	* 3 (90)						* 3 (90)	
	医療プロフェッショナル リズム入門	* 2 (45)						* 2 (45)	
	医療プロフェッショナル リズムII		* 1 (30)					* 1 (30)	
	医療プロフェッショナル リズムIII			* 2 (60)				* 2 (60)	
	医療と倫理	1 (15)						1 (15)	
	医療と社会	1 (15)						1 (15)	
	医学英語I	* 3 (90)						* 3 (90)	
	医学英語II		* 2 (60)					* 2 (60)	
	情報の科学	* 1.5 (45)						* 1.5 (45)	
	医療行動科学	2 (30)						2 (30)	
	合計	24.5 (578)	3 (90)	* 2 (60)				29.5 (728)	
区分	授業科目	授 業 時 間 数						備考	
		第1学年次	第2学年次	第3学年次	第4学年次	第5学年次	第6学年次		計
専門 教育 科目	人体の正常構造と機能	200						200	必修 全て実習・演習含む
	人体の構造I		120					120	
	人体の構造II		70					70	
	脳・神経・感覚器系		20					20	
	呼吸器系I		50					50	
	心臓血管系		20					20	
	腎・尿路系I		20					20	
	消化器系I	50						50	
	内分泌・生殖器系	90						90	
	代謝と遺伝I		40					40	
	代謝と遺伝II		75					75	
	微生物学		45					45	
	免疫学		60					60	
	生体と薬物		90					90	
	病態病理		60					60	
	臨床序論		60					60	
	血液・免疫系			60				60	
	循環器系			90				90	
	視覚系			30				30	
	皮膚系			30				30	
	呼吸器系II			60				60	
	消化器系II			90				90	
	腎・尿路系II			60				60	
	麻酔・救急系			30				30	
	耳鼻咽喉・口腔系			30				30	
	内分泌・代謝系			60				60	
	周産期・生殖器系			60				60	
	成長と発達			60				60	
	神経・精神系			90				90	
	運動器系			30				30	
	高齢医学			30				30	
	死と		30					30	
	診療参加型臨床実習入門			60				60	
医学・医療と社会		60					60		
クリニカルスキルアッププログラム				300			300		
臨床実習				1120	1400	315	2835		
集中講義						150	150		
合計(専門科目)		340	760	870	1420	1400	465	5255	

別表2 看護学部の授業科目等(第9条関係)

区分	授業科目		単位数		1単位 当たり 時間数	履修方法 及び 卒業要件	配当年次	1年次		2年次		3年次		4年次		
	コード	授業科目名	必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
人間学領域	101	暮らしと法律	1		15	必修 17単位 + 選択 5単位※	1	15								
	102	生活におけるICT活用と医療情報セキュリティ	1		15		1	15								
	103	人類と文化		1	15		1	15								
	104	医療倫理	1		15		1		15							
	105	日本国憲法		2	15		2				30					
	106	心理学	1		15		1	15								
	107	健康と運動の科学	1		15		1		15							
	108	地域文化論		1	15		1		15							
	109	社会保障制度論	1		15		2			15						
	110	キャリアデザイン論	1		30		1	30								
	111	情報の科学	2		30		1		60							
	112	エクササイズ&スポーツ		1	30		1	30								
	113	アカデミック・スキルズ	1		30		1		30							
	114	生涯発達・教育論	1		15		1		15							
	115	統計学	1		30		2				30					
	116	哲学的クリティカルシンキング	1		15		2					15				
	117	英語Ⅰ(コミュニケーション英語)	1		30		1	30								
	118	英語Ⅱ(看護英語基礎)	1		30		1		30							
	119	国際社会学	1		15		1		15							
	120	英語Ⅲ(看護英語講読)	1		30		2			30						
	121	中国語		1	30		2					30				
	122	韓国語		1	30		2					30				
	123	ドイツ語		1	30		2					30				
医科学領域	201	看護のための基礎科学	1		15	必修 23単位	1	15								
	202	人体の構造と機能-解剖・生理・生化学-	4		30		1	120								
	203	病原微生物学	1		15		1	15								
	204	病理・病態学	1		15		1	15								
	205	免疫・生体防御学	1		15		1	15								
	206	臨床医学総論	2		15		1		30							
	207	疾病・治療Ⅰ:循環器・呼吸器系	2		15		1		30							
	208	疾病・治療Ⅱ:消化器・内分泌・代謝系	2		15		1		30							
	209	疾病・治療Ⅲ:腎・泌尿器・免疫・血液・神経内系	2		15		1		30							
	210	疾病・治療Ⅳ:脳・神経・運動器・感覚器系	2		15		2			30						
	211	疾病・治療Ⅴ:精神神経系	1		15		2			15						
	212	疾病・治療Ⅵ:高齢者・リハビリテーション医療、感染症学	1		15		2			15						
	213	疾病・治療Ⅶ:小児・産婦人科系	1		15		2				15					
214	臨床薬理学	1		15	2			15								
215	臨床栄養学	1		15	2			15								

卒業要件(卒業に必要な単位数):必修116単位、選択8単位、合計124単位以上

※人間学領域 選択5単位のうち、2単位以上は中国語、韓国語、ドイツ語のいずれかを修得すること。

保健師選択コースの必修27単位を加え合計151単位以上

助産師選択コースの必修27単位を加え合計151単位以上

保健師国家試験の受験資格を得ようとする者には保健師選択コースの全科目が必修科目となる。

助産師国家試験の受験資格を得ようとする者には助産師選択コースの全科目が必修科目となる。

看護教諭2種免許を得ようとする者には選択科目である保健師選択コースの全科目、日本国憲法、エクササイズ&スポーツの修得が必要となる。

区分	授業科目		単位数		履修方法及び卒業要件	配当年次	1年次		2年次		3年次		4年次		
	コード	授業科目名	必修	選択			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
			1単位当たり時間数												
看護学領域	看護学Ⅰ（基本）	301	看護学原論Ⅰ（看護の構成概念）	2	15	必修 16単位	1	30							
		302	看護コミュニケーション論	1	15		1	15							
		303	家族看護論	1	15		1		15						
		304	精神保健看護学概論	2	15		1		30						
		305	成人看護学概論	2	15		2			30					
		306	老年看護学概論	2	15		2			30					
		307	ウイメンズヘルス看護学概論	1	15		2			15					
		308	小児看護学概論	2	15		2			30					
		309	在宅看護学概論	2	15		2			30					
		310	公衆衛生看護学概論Ⅰ（対象と場）	1	15		2				15				
	看護学Ⅱ（方法）	401	基礎看護技術論Ⅰ（対象の健康を評価する技術）	2	30	必修 22単位	1		60						
		402	基礎看護技術論Ⅱ（生活援助技術）	2	30		1		60						
		403	基礎看護技術論Ⅲ（健康援助技術）	2	30		2			60					
		404	基礎看護技術論Ⅳ（看護過程展開技術）	1	30		2			30					
		405	精神看護学方法論	1	30		2				30				
		406	成人看護学方法論Ⅰ（看護援助論）	2	15		2				30				
		407	老年看護学方法論Ⅰ（看護援助演習）	1	30		2				30				
		408	ウイメンズヘルス看護学方法論Ⅰ（看護援助論）	2	15		2				30				
		409	小児看護学方法論Ⅰ（看護援助論）	1	15		2				15				
		410	成人看護学方法論Ⅱ（看護援助演習）	2	30		3					60			
		411	老年看護学方法論Ⅱ（看護援助論）	1	15		3					15			
		412	ウイメンズヘルス看護学方法論Ⅱ（看護援助演習）	1	30		3						30		
		413	小児看護学方法論Ⅱ（看護援助演習）	1	30		3						30		
		414	在宅看護学方法論Ⅰ（看護援助論）	2	15		2				30				
		415	在宅看護学方法論Ⅱ（看護援助演習）	1	30		3					30			
	看護学Ⅲ（実践）	501	基礎看護学実習Ⅰ（対象の生活・環境・健康課題の理解）	1	45	必修 19単位	1	45							
		502	基礎看護学実習Ⅱ（看護の実践）	2	45		2			90					
		503	精神看護学実習	2	45		3				90				
		504	成人看護学実習Ⅰ（急性期看護実習）	2	45		3				90				
		505	成人看護学実習Ⅱ（慢性期看護実習）	2	45		3				90				
		506	老年看護学実習	4	45		3					180			
507		ウイメンズヘルス看護学実習	2	45	3					90					
508		小児看護学実習	2	45	3					90					
509		在宅看護学実習	2	45	3					90					
看護学Ⅳ（発展）	601	看護管理	1	15	必修 19単位 + 選択 3単位	2			15						
	602	看護情報の検索と活用	1	15		2			15						
	603	看護学原論Ⅱ（看護と倫理観の探求）	1	15		3					15				
	604	看護サービス論	1	15		4						15			
	605	災害看護論	1	15		2			15						
	606	多職種連携論	1	15		3					15				
	607	看護教育	1	15		3					15				
	608	看護研究の基本	2	15		3				30					
	609	療養生活支援看護実習	2	45		3				90					
	610	看護実践力探求	1	15		4						15			
	611	統合看護学実習	2	45		4						90			
	612	看護研究	4	30		4						120			
	613	国際看護学	1	15		4						15			
	614	地域アセスメント論	1	15		4						15			
615	高齢者フレイル論	1	15	4						15					
616	皮膚科学看護論	1	15	4						15					
617	精神看護支援論	1	15	4						15					
618	緩和ケア論	1	15	4						15					
619	看護実践病態論	1	15	4						15					
620	看護制度と政策	1	15	4						15					
621	看護英語論文	1	15	3					15						
保健師選択コース	公衆衛生看護学	701	公衆衛生看護学概論Ⅱ（活動の基盤）	1	15	選択 27単位	2			15					
		702	保健統計	2	15		2			30					
		703	疫学	2	15		3				30				
		704	公衆衛生看護学方法論Ⅰ（公衆衛生看護活動論）	2	15		3				30				
		705	公衆衛生看護学方法論Ⅱ（対象別公衆衛生看護活動論）	4	15		3					60			
		706	公衆衛生看護学方法論Ⅲ（学校・産業・健康危機管理）	3	15		3					45			
		707	保健医療福祉政策論	3	15		4						45		
		708	公衆衛生看護学方法論Ⅳ（保健指導演習）	2	30		4						60		
		709	公衆衛生看護学方法論Ⅴ（公衆衛生看護活動演習）	2	30		4						60		
		710	公衆衛生看護管理論	1	15		4						15		
711	公衆衛生看護学実習	5	45	4							225				
助産師選択コース	助産学	801	助産学概論	1	15	選択 27単位	3				15				
		802	性と生殖の形態と機能	1	15		3				15				
		803	周産期の生理と病態	2	15		3					30			
		804	助産診断技術学Ⅰ（妊娠期）	2	15		3					30			
		805	助産診断技術学Ⅱ（分娩期）	2	15		4						30		
		806	助産診断技術学Ⅲ（産褥期・新生児期）	2	15		3				30				
		807	地域母子保健活動論	2	15		4						30		
		808	助産実践学演習	2	30		4						60		
		809	助産管理	2	15		4						30		
		810	助産実習	9	45		4						405		
		811	母子包括支援実習	2	45		4						90		

別表3 入学検定料

学 部	入学検定料
医学部	60,000 円
看護学部	30,000 円

別表4 入学金及び授業料等

学 部	区 分		金額（初年度）		納入年度等	
医学部	入 学 金		2,000,000 円		初年度	
	授 業 料 等	授 業 料	前期分	1,650,000 円	毎年度	
			後期分	1,650,000 円		
		設備更新費	前期分	850,000 円	毎年度	
			後期分	850,000 円		
	教育充実費	前期分	2,000,000 円	2年目1,000,000 円/年 (前後期分割納入)		
		後期分	2,000,000 円	3年目1,000,000 円/年 (前後期分割納入)		
	看護学部	入 学 金		300,000 円		初年度
		授 業 料 等	授 業 料	前期分	450,000 円	毎年度
				後期分	450,000 円	
設備更新費			前期分	100,000 円	毎年度	
			後期分	100,000 円		
教育充実費		前期分	125,000 円	毎年度		
	後期分	125,000 円				

※ 1)医学部総合型選抜（AO入試・卒業生子女入試）及び学校推薦型選抜（指定校・指定地域）

の初年度については前期分・後期分を一括納入とする。（納入期日については別に定める）

2)看護学部において保健師選択コースを受講する場合は、保健師選択コース実習費(30,000円)

助産師選択コースを受講する場合は、助産師選択コース実習費（250,000円）を別途徴収する。

(第4学年のみ)

別表5 授業料等の納入期日

学 部	区分	納 入 期 日
医学部	前期分	前年度末日まで（ただし、新入生は別に定める）
	後期分	9月末日まで
看護学部	前期分	前年度末日まで（ただし、新入生は別に定める）
	後期分	9月末日まで

変更事項を記載した書類

変更事由

看護学部看護学科の入学定員及び収容定員の変更に伴い、学則を変更した。

変更事項

- 1 看護学部看護学科の入学定員を70名から75名に、収容定員を280名から300名に変更する。
- 2 附則関係について、この改正学則は令和5年4月1日から施行する旨を追記する。

「金沢医科大学学則」新旧比較対照表

改正案	現行	適要
<p>第1章 総則 (中略)</p> <p>第3条 医学部医学科にあつては入学定員110名、収容定員660名、看護学部看護学科にあつては、入学定員75名、収容定員300名とする。 (中略)</p> <p>附則 1 この改正学則は、令和5年4月1日から施行する。</p>	<p>第1章 総則 (中略)</p> <p>第3条 医学部医学科にあつては入学定員110名、収容定員660名、看護学部看護学科にあつては、入学定員70名、収容定員280名とする。 (中略)</p>	<p>入学定員数、収容定員数変更</p> <p>附則の追加</p>

学則変更の趣旨

《 目 次 》

ア	学則変更（収容定員変更）の内容・・・・・・・・・・・・・・・・	2
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性・・・・・・・・・・・・	2
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	
	（ア）教育課程の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容・・・・・・・・	3
	（ウ）教員組織の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	（エ）大学全体の施設・設備の変更内容・・・・・・・・	3

学則変更の趣旨

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

①学校法人金沢医科大学看護学部看護学科の学則（収容定員）の変更

②変更内容は以下のとおり

変更前		変更後	
入学定員	70名	入学定員	75名
収容定員	280名	収容定員	300名

※変更年月日：令和5年4月1日

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

金沢医科大学看護学部（以下、本学部とする）は前身である金沢医科大学附属看護学校（昭和48年に開設され、昭和63年に金沢医科大学附属看護専門学校に改組、平成21年に閉校となった）の使命を引き継ぐ形で、平成19年4月に開設された。

本学部の教育理念は、「確かな知識・技術とともに、豊かな人間性と高い倫理観を備え、医療・保健・福祉領域で活躍できる看護専門職者を育成する。また、看護学ならびに社会の発展に貢献し得る人材を育成する。」であり、看護師等の基礎となる教育内容を4年間の学士課程の中で体系的に教授し、質の高い看護系人材を供給すべく人材の育成に努めている。しかし、現行では以下に示す課題が判明しているため、教育の質を維持しながら、優れた人材をより多く輩出し、さらなる社会貢献をしていくという本学の使命を果たすため、入学定員を増加する次第である。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

定員数変更に伴い、教育課程を以下のとおりと変更する。

変更前		変更後	
看護師教育課程（必修制）	70名	看護師教育課程（必修制）	75名
保健師教育課程（選択制）	50名	保健師教育課程（選択制）	50名
助産師教育課程（選択制）	10名	助産師教育課程（選択制）	10名

※保健師教育課程、助産師教育課程の両方の選択は認めていない。

※保健師教育及び助産師教育の質の充実を維持するため、保健師教育課程及び助産師教育課程における選択履修者数は変更しないが、令和5年度からの入学定員増により、必修である看護師教育課程の履修者は、70名から75名へと変更される。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学部は、看護基礎教育の質保証の観点から、2019年には「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」に基づき教育課程を改変し、2022年からは保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正にも対応したカリキュラム編成で教育を行う。4年の課程を経て、ディプロマポリシーに掲げた人間性と倫理観、看護学の知識と技術、地域や社会を捉える力、そして生涯学習能力を獲得できるように、人間学領域、医科学領域、看護学領域を効果的に配置している。特に、初年次を学びの出発点として重視し、基礎科学や看護基礎科目のほかに、アカデミック・スキルズ、キャリアデザイン論、語学、文化論などの科目を配置し、広い視野を持ち発展的に学習し続けられる能力の育成を目指している。専門教育科目としての看護学領域においては、概論、方法論、演習、実習と体系的に理解と応用力、実践力へと積み上げることができる編成にしている。定員増の後も、同じく教育の質を担保しつつ教育していく。

履修に必要な情報（教育要項、授業計画、成績評価に関することなど）は、入学時及び学期ごとに教務委員会を中心に、学生に周知している。その際には履修モデルを提示し、特に卒業要件と国家試験の受験資格に必要となる科目については正しく理解できるように支援している。また、履修に関する情報は電子シラバスに掲載しており、学生が学内外いずれにおいても適宜アクセスできる環境を構築している。個々の授業科目の授業形態、一般目標と行動目標、学習内容、評価の方法と割合、教科書、履修上の注意事項等はシラバスに明示しており、全授業科目の初回授業において、授業担当教員がシラバスを用いて授業ガイダンスを行うことを定めている。臨地実習に関しては、実習検討部会が中心となって臨地実習ガイダンスを特別に開催している。

(ウ) 教員組織の変更内容

前述の教育方法および履修指導方法を実行するに十分な教員組織体制である。

また、学生生活委員会を中心に、学年主任1名・副主任5名との協働のもと学業支援、生活支援、健康支援、進路指導、相談等のサポートを行う体制がある。また、特に学力の劣る学生に対しては、学生生活委員会のもとにある学業支援室が、学年主任・副主任と連携しながら支援する。学年主任・副主任は1学年6名体制で、教員1名あたり10～12名の学生を担当している。5名定員増加した場合、受け持ち学生は1名程度の増加であり、個別面談、学業支援、生活支援時間の確保は十分に可能である。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

本学部では各学年に基幹講義室があるが、収容キャパシティは現状、いずれも80名以上であり、机や椅子を追加することで、85名程度は問題無く収容可能である。以上のことから、収容定員増加後に留年者が定員の5%となった場合であっても講義等に影響はないものと考えられる。また、情報処理教室やクリニカル・シミュレーション・センターといった演習で使用する場所についても、元々各学年110名程度が在籍する医学部と共用として使用しているため、本学部の学生数においては定員75名となっても問題はなく、定員変更前と同等の教育が可能である。

学生の確保の見通し等を記載した書類

《 目 次 》

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生確保の見通し	
ア 定員充足の見込み	2
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	2
② 学生確保に向けた具体的な取組状況	
ア 入学試験制度に関する取組	2
イ 本学以外の試験会場の設定	3
ウ 入学広報に関する取組み	3

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	4
② 本学部の進路状況	4

資料目次	6
資料1	7
資料2	8
資料3	9
資料4	10
資料5	11
資料6	12

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

今回の収容定員（入学定員）の変更は、本学看護学部を志願する受験生の希望を満たすと共に、今後の日本・北陸地域において、優秀な看護師の育成が求められている社会ニーズに応えるためのものである。ただし、教育研究活動の質的低下を招くことがないように、最小限の増員に留めるため5名の入学定員の増加とする。

本学部は前身の学校を含め、昭和49年から看護職の養成教育を行い、看護学部は2007年に開設し、令和4年3月で開設15年目を迎える。直近5年間の本学の入学志願者状況は、堅調であり、入学定員の充足状況も安定していることから、教育研究活動のさらなる充実・発展を図り、学生募集活動への努力を継続することで、今後も適切な入学者選抜に必要な志願者数を維持し、収容定員変更後も入学定員を十分確保できるものと考えている。【資料1】

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

看護学部の過去5年間の各入試種別志願者数及び入学者数は安定しており【資料1】、本学部における特徴として、志願者にしめる北陸3県（石川県、富山県、福井県）からの受験者数の割合が高く、北陸3県からの受験者が占める割合の推移は、80%前後で推移している。【資料2】志願者数、受験者数いずれも毎年定員数の2倍以上の数値となっており、今後も北陸3県を中心とした受験者数の確保に期待できると考えている。

以上から、入学者の定員を70名から75名に増加した場合でも、十分に入学定員の充足が可能であると判断している。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

ア 入学試験制度に関する取組み

近隣県の高等学校、特定地域における選抜を考慮した入試方式の実施

本学部の選抜試験は、学校推薦型選抜20名と一般選抜50名からなる。平成29年度までは編入学入試を定員10名行っていたが、編入志願者数の減少に伴い、平成30年から廃止した。学校推薦型選抜では、公募・指定校・指定地域があり、指定校では継続した入学実績がある石川県内の5校、岐阜県内の1校を対象に行っている。指定地域は福島県釜石市の指定する医療施設に医療従事者として卒業後4年間勤務することを出願要件とし選抜している。指定校は平成29年から、指定地

域は令和3年から行い、優秀な学生の確保につながっている。

次に、入試科目では、令和3年から試験科目を3科目から2科目に変更した。また、推薦入試ではグループ面接から個人面接に変更した。このことは、平成31年カリキュラムから、理科・数学など高校時代の選択科目にかかわらず医科系科目の学習が円滑にできるように1年次におけるリメディアル教育を充実させたこと、看護師としてのコミュニケーション演習を1年次前期に必修科目として設けたことに関連している。このように、本学部は入試制度や入試科目を入学後のカリキュラムに合わせて検討することで、確かな学力と多様な能力や個性を持つ学生の受け入れに努めている。

イ. 本学以外での試験会場の設定

本学部の受験者の8割近くは北陸3県であるが、新潟県、長野県、関東圏からの受験者も少数いる。このような状況を鑑み、平成30年から、新潟県、長野県、埼玉県でも試験会場を設けている。これらの試験会場は、受験生の居住地や他学試験会場への移動を考慮した利便性を考慮するとともに、本学での学びを希望する全国の受験生に受験の機会を提供することを目的として設定している。本学以外での試験会場の受験者数は、本学での受験者数と比べると少数ではあるが、入学者数において一定の割合を占めている。【資料3】

ウ 入学広報に関する取組み

本学部では、受験生や保護者と直接対話することができ、また、受験生や保護者にキャンパスの雰囲気を感じ取りながら授業などを体験してもらう看護学部オープンキャンパスを開催している。看護学部オープンキャンパスは、年に3回（7月、8月、9月）に本学で学部別に実施している。入学者のうち入学を決める上で参考になったこととして看護学部オープンキャンパスを挙げる者は半数程度いることから、志望校の選択にオープンキャンパスが役立っていることがわかる。令和3年の看護学部オープンキャンパス参加者は、7月71名、8月7名（新型コロナウイルスによりWEBのみに変更）、9月62名であった。【資料4】

本学の入試概要、入試の変更事項、前年度の入試結果、当該高校出身の本学在学生の近況等を紹介するために、本学職員による高校訪問、高校生の大学訪問の受け入れを行っている。実際に、入学実績のある高校教員からは、本学の入試制度や教育制度に関する高い満足度と毎年一定数の志願者がいるとお話を伺っている。

さらに高校教員の本学に対する理解と信頼を深めることを目的に、高校教員を対象とした説明会を開催している。高校訪問や説明会では、安定した志願者数を維持し、質の高い学生を確保するために、高校から在校生の進路希望状況、本学部の入試への期待や意見など様々な意見や情報を得て、入試制度や教育課程を検討す

る際の参考にしている。令和3年の高校訪問の実績は51校、高校教員を対象とした説明会の参加は17校であった。

また、高校からの希望に応じて本学部教員を派遣し、大学で学ぶ内容について模擬授業を行っている。高校の生徒は、看護学の専門性に触れることで看護学部もしくは本学部進学への動機付けや興味関心の確認の機会として役立ててもらうことを期待して実施している。令和3年の実績は2校に対し、教員1名を派遣した。

上記以外にも、パンフレット、ポスター、チラシ、ホームページ、進学相談会参加による広報活動を行い、本学部の入試制度や教育の特徴についてPRしている。

エ 納付金について

文部科学省が公開している「令和3年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額（定員1人当たり）の調査結果について」を参照すると、昼間部・その他・保健区分において、令和3年度の学生が初年度に納付する合計金（授業料、入学料、施設設備費）は平均1,506,041円であるが、本学の「教育充実費」を除いた初年度納付金は当該平均額よりも安い1,400,000円である。【資料5】また、近隣の看護系私立大学9校と比較した場合においても、「教育充実費」、「実習費」等を含めた4年間納付平均額は6,050,000円であり、こちらも本学は5,700,000円と平均額よりも安い金額となっている。「その他諸費用」を加味したとしても、適性な金額であると言える。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学は、昭和47年に「倫理に徹した人間性豊かな良医を育成する」「医学の深奥をきわめ優れた医療技術を開拓する」「生命の尊厳を基調とし人類社会の医療と福祉に貢献する」を建学の精神として、医学・医術・医道を3本柱としたバランスのとれた医師の育成を目指し、医学系単科大学として開学した。看護学部は、平成19年4月に医療の急速な進歩や高度化、複雑化に対応できる看護職者育成を目指して看護教育の充実を図るため開設した。

本学部の教育理念は、「専門的知識と的確な判断力に基づく質の高い看護実践力を備え、豊かな人間性と倫理観を持ち、生涯にわたって資質向上に努め、地域の医療・保健・福祉に貢献できる看護専門職者の養成」であり、開設時から変わらず一貫した教育を行っている。

②本学部の進路状況

本学部は、開学以来、看護師・保健師・助産師国家試験の合格率はほぼ100%を維持し【資料6】、金沢医科大学病院をはじめ、県内外の医療機関、行政機関に看護師・保

健師・助産師を輩出している。

看護師としての就職先は金沢医科大学病院、金沢医科大学氷見市民病院、金沢大学附属病院、京都大学医学部附属病院、福井大学医学部附属病院、信州大学医学部附属病院、東京女子医科大学病院、東京女子医科大学 八千代医療センター、藤田医科大学病院、国立病院機構金沢医療センター、東京虎の門病院、東京都立小児総合医療センター、石川県立高松病院、市立輪島病院、能美市立病院、小松市民病院、富山県立中央病院、富山赤十字病院、市立砺波総合病院、福井県立病院、高山赤十字病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院、みさと健和病院などである。

助産師としての就職先は、金沢医科大学病院、東京女子医科大学病院、東京女子医科大学 八千代医療センター、信州大学医学部附属病院、石川県立中央病院、公立能登総合病院、市立輪島病院、市立砺波総合病院、公立豊岡病院、金沢聖霊総合病院、恵愛病院などである。

保健師としての就職先は、金沢医科大学病院、石川県庁、富山県庁、南砺市役所、郡上市役所、内灘町役場、七尾市社会福祉協議会などである。

また、進学先は、金沢医科大学大学院、金沢大学大学院、筑波大学大学院人間総合科学研究科、天使大学大学院助産研究科、聖隷クリストファー大学 助産学専攻科、愛媛県立医療技術大学 助産学専攻科、名古屋医専助産学科、金沢大学 養護教諭特別別科、新潟大学養護教諭特別別科がある。

また、看護職の需給状況は、令和元年時点ですべての都道府県で看護職員の求人倍率が1.0を下回る都道府県はなく、石川県内では、特に奥能登地域での看護職員の確保が課題である。本学は石川県能登地区、加賀地区、富山県西部の中心に位置し、金沢医科大学病院、金沢医科大学氷見市民病院および能登北部地域医療研究所を中心に、地域の保健医療福祉機関との連携のもと地域医療に貢献する役割があることから、本学部の卒業生の多くはこの地域の医療の担い手として活躍が期待されている。

これらの実績から、収容定員を増加した場合でも、卒業後の就職先の確保については十分に見込みがあるものと考えている。

学生の確保の見通し等を記載した書類

《 資料目次 》

資料 1	過去 5 年間における各入試種別の志願者数・入学者数等の状況	7
資料 2	過去 5 年間の志願者における北陸 3 県出身者の占める割合	8
資料 3	過去 5 年間の地方試験会場受験者数	9
資料 4	過去 5 年間の看護学部オープンキャンパス参加者数	1 0
資料 5	近隣大学納付金等一覧	1 1
資料 6	看護師・保健師・助産師国家試験合格状況	1 2

資料 1

過去5年間に於ける各入試種別の志願者数・入学者数等の状況

令和4年度	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	辞退者数	入学者数	歩留率	定員超過率
一般	50	204	191	147	94	45	49	33%	98%
公募	20	28	28	15	15	0	15	100%	105%
指定校		6	6	6	6	0	6	100%	
合計	70	238	225	168	115	45	70	42%	100%

令和3年度	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	辞退者数	入学者数	歩留率	定員超過率
一般	50	171	156	117	74	25	49	42%	98%
公募	20	28	28	16	0	0	16	100%	105%
指定校		5	5	5	0	0	5	100%	
合計	70	204	189	138	74	25	70	51%	100%

令和2年度	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	辞退者数	入学者数	歩留率	定員超過率
一般	50	173	155	122	94	45	49	40%	98%
公募	20	25	25	17	0	0	17	100%	105%
指定校		4	4	4	0	0	4	100%	
合計	70	202	184	143	94	45	70	49%	100%

令和元年度	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	辞退者数	入学者数	歩留率	定員超過率
一般	50	158	138	97	82	32	50	52%	100%
公募	20	21	21	16	0	0	16	100%	100%
指定校		4	4	4	0	0	4	100%	
合計	70	183	163	117	82	32	70	60%	100%

平成30年度	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	辞退者数	入学者数	歩留率	定員超過率
一般	50	196	184	129	93	37	56	43%	112%
公募	20	34	26	16	0	0	16	100%	90%
指定校		2	2	2	0	0	2	100%	
合計	70	232	212	147	93	37	74	50%	105.71%

資料 2

過去5年間の志願者における北陸3県出身者の占める割合

令和4年度	定員	志願者数	北陸3県	北陸3県割合
一般	50	204	148	72.5%
公募	20	28	20	71.4%
指定校		6	5	83.3%
合計	70	238	173	72.7%

令和3年度	定員	志願者数	北陸3県	北陸3県割合
一般	50	171	112	65.5%
公募	20	28	23	82.1%
指定校		5	5	100.0%
合計	70	204	140	68.6%

令和2年度	定員	志願者数	北陸3県	北陸3県割合
一般	50	173	131	75.7%
公募	20	25	18	72.0%
指定校		4	3	75.0%
合計	70	202	152	75.2%

令和元年度	定員	志願者数	北陸3県	北陸3県割合
一般	50	158	129	81.6%
公募	20	21	18	85.7%
指定校		4	3	75.0%
合計	70	183	150	82.0%

平成30年度	定員	志願者数	北陸3県	北陸3県割合
一般	50	196	147	75.0%
公募	20	34	26	76.5%
指定校		2	2	100.0%
合計	70	232	175	75.4%

資料 3

過去 5 年間の地方試験会場受験者数

令和4年度	志願者数	受験者数	入学者数
新潟	11	11	3
長野	18	17	2
大宮	11	10	2
合計	40	38	7

令和3年度	志願者数	受験者数	入学者数
新潟	17	15	6
長野	14	12	3
大宮	13	9	1
合計	44	36	10

令和2年度	志願者数	受験者数	入学者数
新潟	/		
長野	19	19	8
大宮	4	3	0
合計	23	22	8

令和元年度	志願者数	受験者数	入学者数
新潟	/		
長野	9	8	3
大宮	8	6	1
合計	17	14	4

平成30年度	志願者数	受験者数	入学者数
新潟	18	16	2
長野	19	18	5
大宮	/		
合計	37	34	7

資料4

過去5年間の看護学部オープンキャンパス参加者数

	5月開催	第1回（7月）	第2回（8月）	第3回（9月）	合計
令和3年度		71	7	62	140
令和2年度			8	17	25
令和元年度		110	145	71	326
令和30年度		131	141	48	320
平成29年度	18	103	98	54	273

資料5

近隣大学納付金等一覧

2022.2.14現在 各大学HP参照

納付金		〔その他諸費用〕						
4年間合計納付金	各学年納付金	入学金	授業料	設備更新費	教育充実費			
金沢医科大	5,700,000 円	第1学年 1,650,000円 第2～4学年 1,350,000円	300,000	900,000	200,000	250,000	<ul style="list-style-type: none"> 委託徴収金39,500円(毎年度) 内訳：看護学生保険料4,500円 後援会(さくら会)費15,000円 学友会費20,000円 ・(第4学年)保健師選択コース実習費30,000円 助産師選択コース実習費250,000円 教科書、実習服代・学外実習施設交通費等 	
金城大	5,970,000 円	第1学年 1,670,000円 第2学年 1,400,000円 第3、4学年 1,450,000円	270,000	960,000		290,000	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会年会費15,000円 ・学友会年会費7,000円 ・同窓会永年会費20,000円(4年次) ・学生教育研究災害傷害保険料(4年分)2,720円 ・学研災付帯賠償責任保険料(1年分)500円 ・学友会特別事業費(卒業アルバム、卒業パーティ等)20,000円 ・(4年次) Will等 	
福井医療大	3,850,000 円	第1学年 1,150,000円 第2～4学年 900,000円	250,000	600,000 ※教材費含む	200,000		100,000	<ul style="list-style-type: none"> ・諸会費(後援会費、自治会費等) ・実習衣代(入学時) ・教科書代(主に1、2年次) ・遠隔地での臨床実習にかかわる交通費・宿泊費等
新潟医療福祉大	6,900,000 円	第1学年 1,950,000円 第2～4学年 1,650,000円	300,000	1,100,000	300,000		250,000	<ul style="list-style-type: none"> ・(入学手続時)学友会年会費3,600円 後援会年会費30,000円 教科書、参考書等の購入費 学外実習時の交通費・宿泊費 ・Will4,500円(毎年度) ノート型パソコン等の購入代金
新潟青陵大	6,900,000 円	第1学年 1,950,000円 第2～4学年 1,650,000円	300,000	1,100,000	300,000		250,000	<ul style="list-style-type: none"> ・(入学手続時) 学友会入会金1,000円、 学生教育研究災害傷害保険料3,300円 パソコン保証料22,000円 ・(毎年度)学友会費4,800円 ・同窓会費5,000円(4年次後期) ・新潟青陵学会年会費500円(毎年次後期) ・教科書・参考書・教材等の購入費
佐久大	6,230,000 円	第1学年 1,730,000円 第2～4学年 1,500,000円	230,000	900,000		500,000	100,000	<ul style="list-style-type: none"> ・(入学手続時)学友会入会金2,000円 後援会入会金5,000円 ・学友会年会費8,000円 ・後援会年会費20,000円 ・(卒業)同窓会入会金 終身会費10,000円
岐阜医療科学大	6,050,000 円	第1学年 1,700,000円 第2～4学年 1,450,000円	250,000	700,000		750,000円 ※実験実習費含む		<ul style="list-style-type: none"> ・(1年次前期)教育後援会費 58,000円 学生自治会費 20,000円 ・実習着・シューズ・教科書など実費
朝日大	6,000,000 円	第1学年 1,725,000円 第2～4学年 1,425,000円	300,000	725,000	350,000		350,000	<ul style="list-style-type: none"> ・諸納付金等(入学手続時)26,500円 ・(2年次以降毎年)23,500円
岐阜聖徳学園大	6,700,000 円	第1学年 1,900,000円 第2～4学年 1,600,000円	300,000	900,000		360,000	340,000	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会年会費50,000円 ・学友会費(4年分)10,000円
中京学院大	6,200,000 円	第1学年 1,700,000円 第2～4学年 1,500,000円	200,000	900,000	200,000	200,000	200,000	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ユニフォーム、学生保険、抗体価検査、 実習時インフルエンザワクチン接種、学生会費等

平均
6,050,000 円

看護師・保健師・助産師国家試験合格状況

1. 看護師国家試験合格状況

	新卒者			既卒者			合計			全国		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第111回 (令和3年度)	77	77	100.0%	-	-	-	77	77	100.0%	65,025	59,344	91.3%
第110回 (令和2年度)	76	76	100.0%	-	-	-	76	76	100.0%	66,124	59,769	90.4%
第109回 (令和元年度)	66	66	100.0%	-	-	-	66	66	100.0%	65,569	58,514	89.2%
第108回 (平成30年度)	80	80	100.0%	-	-	-	80	80	100.0%	63,603	56,767	89.3%
第107回 (平成29年度)	73	73	100.0%	-	-	-	73	73	100.0%	64,488	58,682	91.0%
第106回 (平成28年度)	74	74	100.0%	1	1	100.0%	75	75	100.0%	62,534	55,367	88.5%
第105回 (平成27年度)	67	67	100.0%	1	0	0.0%	68	67	98.5%	62,154	55,585	89.4%
第104回 (平成26年度)	66	65	98.5%	-	-	-	66	65	98.5%	60,947	54,871	90.0%
第103回 (平成25年度)	55	55	100.0%	-	-	-	55	55	100.0%	58,891	52,900	89.8%
第102回 (平成24年度)	58	58	100.0%	-	-	-	58	58	100.0%	56,530	50,224	88.8%
第101回 (平成23年度)	55	55	100.0%	-	-	-	55	55	100.0%	53,702	48,400	90.1%
第100回 (平成22年度)	62	62	100.0%	-	-	-	62	62	100.0%	54,138	49,688	91.8%

2. 助産師国家試験合格状況

	新卒者			既卒者			合計			全国		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第105回 (令和3年度)	10	10	100.0%	-	-	-	10	10	100.0%	2,089	2,077	99.4%
第104回 (令和2年度)	9	9	100.0%	-	-	-	9	9	100.0%	2,108	2,100	99.6%
第103回 (令和元年度)	10	10	100.0%	-	-	-	10	10	100.0%	2,105	2,093	99.4%
第102回 (平成30年度)	9	9	100.0%	-	-	-	9	9	100.0%	2,105	2,096	99.6%
第101回 (平成29年度)	9	8	88.9%	-	-	-	9	8	88.9%	2,230	2,201	98.7%
第100回 (平成28年度)	8	8	100.0%	-	-	-	8	8	100.0%	2,053	1,909	93.0%
第99回 (平成27年度)	8	8	100.0%	-	-	-	8	8	100.0%	2,008	2,003	99.8%
第98回 (平成26年度)	9	9	100.0%	-	-	-	9	9	100.0%	2,037	2,034	99.9%
第97回 (平成25年度)	9	9	100.0%	-	-	-	9	9	100.0%	2,079	2,015	96.9%
第96回 (平成24年度)	10	10	100.0%	-	-	-	10	10	100.0%	2,113	2,072	98.1%
第95回 (平成23年度)	6	6	100.0%	-	-	-	6	6	100.0%	2,132	2,026	95.0%
第94回 (平成22年度)	9	9	100.0%	-	-	-	9	9	100.0%	2,410	2,342	97.2%

3. 保健師国家試験合格状況

	新卒者			既卒者			合計			全国		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第108回 (令和3年度)	37	35	94.6%	1	0	0.0%	38	35	92.1%	7,948	7,094	89.3%
第107回 (令和2年度)	38	38	100.0%	-	-	-	38	38	100.0%	7,834	7,387	94.3%
第106回 (令和元年度)	38	38	100.0%	3	2	66.7%	41	40	97.6%	8,233	7,537	91.5%
第105回 (平成30年度)	48	46	95.8%	4	2	50.0%	52	48	92.3%	8,376	6,852	81.8%
第104回 (平成29年度)	47	39	83.0%	-	-	-	47	39	83.0%	8,191	6,666	81.4%
第103回 (平成28年度)	50	48	96.0%	1	0	0.0%	51	48	94.1%	8,207	7,450	90.8%
第102回 (平成27年度)	50	49	98.0%	-	-	-	50	49	98.0%	8,799	7,901	89.8%
第101回 (平成26年度)	62	62	100.0%	2	2	100.0%	64	64	100.0%	16,622	16,517	99.4%
第100回 (平成25年度)	50	50	100.0%	-	-	-	50	50	100.0%	17,308	14,970	86.5%
第99回 (平成24年度)	55	55	100.0%	1	1	100.0%	56	56	100.0%	16,420	15,764	96.0%
第98回 (平成23年度)	56	52	92.9%	2	1	50.0%	58	53	91.4%	15,758	13,555	86.0%
第94回 (平成22年度)	68	64	94.1%	-	-	-	68	64	94.1%	14,819	12,792	86.3%

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	カンダ ツギヤス 神田 享勉 <平成28年9月1日>		医学博士		金沢医科大学 学長 (平成28年9月1日～令和4年8月31 日)